MATSUMOTO CITY
MUSEUM
OF ART

松本市美術館 年報 令和6年度

ANNUAL REPORT 2024

［目次］

1　基本方針 ― 004

2　展覧会
2-1　展覧会一覧 ― 006
2-2　企画展覧会 ― 007
2-3　コレクション展示 ― 028
2-4　記念展示室 ― 034
2-5　池上百竹亭コレクション展示室 ― 038
2-6　オープンギャラリー ― 040

3　資料
3-1　収蔵作品一覧 ― 043
3-2　資料の保存・修復 ― 044
3-3　貸出作品 ― 045

4　教育普及
4-1　教育普及事業 ― 051
4-2　アートライブラリー ― 054
4-3　音声ガイド ― 055
4-4　友の会 ― 056

5　広報・出版
刊行物 ― 058

6　施設の利用 ― 062

7　その他の入館者サービス
7-1　ミュージアムショップ ― 065
7-2　その他 ― 066

8　開館状況・観覧者数一覧 ― 068

9　松本市美術館の概要
9-1　沿革 ― 070
9-2　施設 ― 071
9-3　関係委員・職員名簿 ― 073
9-4　関係例規 ― 074
9-5　利用案内 ― 082

凡例
- 本文中の制作年は、原則として西暦表記で統一しているが、展覧会の性質上、和暦等の表記がふさわしい場合は併記としている。制作年が不明なものは、不詳と記載した。
- 作品寸法は、特別な表記がない場合、平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行きである。
- 松本市美術館所蔵の作品については、所蔵の記載を省略した。
- 文中敬称略、順不同。

1　基本方針

基本方針

美術館がめざす目標

美術館は市民の芸術文化の振興をはかり、市民憲章に標榜する文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、より広い世界の美術・文化を紹介し、新たな美術を育む創造の母胎となることをめざします。

基本的な性格

市民が心をひらく学びの森として、地域に根ざす総合美術館とします。

美術館がめざす四つの柱

美術館は次の四つの柱を基本として構成されています。

鑑賞の場－美術館の根幹的な目的である美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出します。

表現の場－美術館のもう一つの顔。先人が培った郷土の美術遺産の顕彰と未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。

学習の場－「学びの森をめざして」は、本市の生涯学習を推進する市民の合言葉。美術館は芸術分野の学習拠点としてその役割を担います。

交流の場－美術館は鑑賞・表現・学習の場であるとともに市内外、国内外との国際交流を担う場としてグローバルな役割を果たします。

総合的な視野に立って

国宝松本城、国宝旧開智学校校舎を始めとする豊かな文化遺産と北アルプス、美ヶ原高原など恵まれた自然環境を因子として地域に根ざす美術・音楽・演劇など広い視野に立って総合芸術の振興を図ります。

松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

MATSUMOTO
CITY MUSEUM
OF ART

松本市美術館のシンボルマークとロゴデザインについて

田中一光 (1930–2002)

日本を代表する山岳都市松本市に新しく出来たこの美術館は美しく雄大な北アルプスの山々（Mountains）を背景にしています。また深い緑に包まれた自然との調和を考え合わせた市民に開かれた美術館（Museum）です。
大きな屋根のようなM（Mountain）と、しっかりと伝統に根ざしたM（Museum）の二つのMをモチーフに力強くシンボリックにデザインしました。

2 展覧会

2-1 展覧会一覧

2-2 企画展覧会

2-3 コレクション展示

2-4 記念展示室

2-5 池上百竹亭コレクション展示室

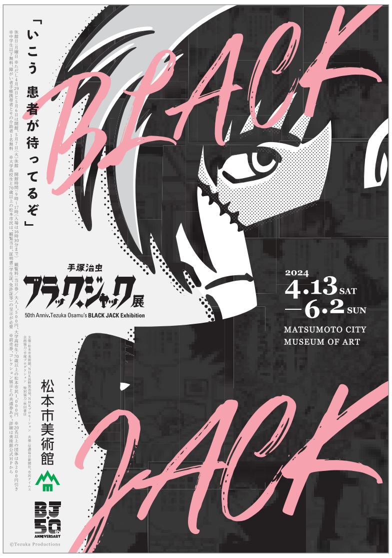
2-6 オープンギャラリー

展覧会一覧

<table>
<tr><th>展覧会名</th><th>会期／会場</th><th>開館日数</th><th>入場者数（人）</th><th>1日平均（人）</th></tr>
<tr><td>企画展覧会1
連載50周年記念
手塚治虫 ブラック・ジャック展</td><td>2024年4月13日（土）～6月2日（日）
プロムナード、企画展示室</td><td>45</td><td>30,613</td><td>680</td></tr>
<tr><td>企画展覧会2
北欧の神秘
―ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画</td><td>2024年7月13日（土）～9月23日（月祝）
企画展示室</td><td>67</td><td>27,120</td><td>405</td></tr>
<tr><td>企画展覧会3
生誕150年／没後70年
金工の巨匠　香取秀真展</td><td>2024年10月12日（土）～12月1日（日）
企画展示室</td><td>44</td><td>11,392</td><td>259</td></tr>
<tr><td>企画展覧会4
フィロス・コレクション
ロートレック展　時をつかむ線</td><td>2025年1月18日（土）～4月6日（日）
企画展示室</td><td>68</td><td>26,040</td><td>383</td></tr>
<tr><td>コレクション展示1
特集展示　草間彌生 魂のおきどころ</td><td>第1期：2024年6月18日（火）～9月8日（日）
第2期：2024年9月10日（火）～12月22日（日）
第3期：2024年12月24日（火）～2025年3月9日（日）
第4期：2025年3月11日（火）～6月15日（日）
コレクション展示室A・B・C</td><td rowspan="7">311</td><td rowspan="7">143,390
※コレクション展示のみの入場者数
※2024年4月23日～2025年3月31日</td><td rowspan="7">461</td></tr>
<tr><td>コレクション展示2
第2期コレクション展示</td><td>2024年7月23日（火）～10月20日（日）
上條信山記念展示室、田村一男記念展示室</td></tr>
<tr><td>コレクション展示3
第4期コレクション展示</td><td>2025年2月4日（火）～5月11日（日）
上條信山記念展示室、田村一男記念展示室</td></tr>
<tr><td>記念展示室1
上條信山記念展示室
1 作家の息づかい
3 墨の魔術、昭和の書②
※2・4期は資料室展示のみ</td><td rowspan="3">第1期：2024年4月23日（火）～7月21日（日）
第2期：2024年7月23日（火）～10月20日（日）
第3期：2024年10月22日（火）～2025年2月2日（日）
第4期：2025年2月4日（火）～5月11日（日）</td></tr>
<tr><td>記念展示室2
田村一男記念展示室
1 田村一男作品セレクション
3 生誕120年　田村一男作品セレクション
※2・4期は資料室展示のみ</td></tr>
<tr><td>池上百竹亭コレクション展示室
池上百竹亭コレクション
1 小川千甕
2 絵画作品
3 香取秀真
4 伊藤左千夫</td></tr>
<tr><td>オープンギャラリー
コレクション特設展示</td><td>通年</td></tr>
</table>

企画展覧会1

連載50周年記念
手塚治虫 ブラック・ジャック展



■会期
2024年4月13日（土）～6月2日（日）
■会場
プロムナード、企画展示室
■入場者
30,613人（1日平均680人）
■主催
松本市美術館、NHK長野放送局、NHKプロモーション
■共催
信濃毎日新聞社、市民タイムス
■企画協力
手塚プロダクション
■特別協力
秋田書店
■担当学芸員
大島 武、稲村 純子、村上 萌、原澤 知也

［趣旨・総括］

1973年に登場し、医療マンガの金字塔といわれる手塚治虫の『ブラック・ジャック』（以下、B・J）。本展は、500点以上の原稿ほか関連資料やパネルを展示し、B・Jに特化した過去最大規模の展覧会となった。

展示は全4室により構成。第1室「B・Jとキャストたち」は、無料スペースとしてプロムナードに設け、作品に登場する個性豊かなキャラクターたちをパネルで紹介し、撮影自由のセクションとした。企画展示室へ進み、第2室「B・J誕生秘話」では、B・J誕生前の作品や医大時代の資料、当初4話読み切りで終了予定だった直筆原稿を一挙に公開し、誕生に至る時代背景を紐解いた。第3室「B・J曼荼羅」は、ストーリー全体を通しての遍歴、高額請求の謎や、動物のいのちを扱った作品など主要なテーマごとに展示。第4室「B・J蘇生」では、“人体の手術シーン”を現代アート的な視点から鑑賞したり、当時のNHKニュース映像と共にリンクするテーマの話をピックアップしたコーナーなどを展開した。最後は「カミ回」と題して厳選した3話の全原画を展示。特に最終話の「人生という名のＳＬ」は松本独自の展示として注目を集めた。

B・Jと手塚治虫というふたりの天才に迫った本展は、作品に込められたさまざまなテーマがいま地球上で起きている事象をまるで見透かしていたかのように全く色褪せることなく、時代と場所を超えた普遍性、先見性も大きな魅力であった。会期中は、雑誌掲載当時の読者層から若者や親子連れまで幅広い世代の方々が来場され、特に休日は1,000人を超える入場者数の日もあったが大きな混乱もなく、時間をかけてじっくりと鑑賞されている様子が印象的だった。

関連プログラムは、手塚眞氏による記念講演会を開催。手塚治虫のご子息ならではの裏話や信州とのつながりなどもお話しくださり、終始温かい雰囲気で、参加者には満足度の高いプログラムとなった。

■関連行事
記念講演会「ブラック・ジャックと手塚治虫 〜ふたりの天才の秘密」
日時：4月13日（土）午後2時〜3時30分
講師：手塚眞（ヴィジュアリスト）
会場：多目的ホール
料金：無料
参加者数：80人

■印刷物
ポスター　B2判（カラー）、1,700部
チラシ　A4判（両面カラー）、40,000部

■アートブック
規格／B4判、総頁数176ページ（カラー16ページ、モノクロ160ページ）

［出品リスト］

※原画のみ掲載　※第1室はパネル展示のみ

■第２室　B・J誕生秘話

No.	話	作品名（初出タイトル）	モノクロ（点）	カラー（点）
1	1	医者はどこだ！	24	
2	2	海のストレンジャー	23	
3	3	ミユキとベン	23	
4	4	アナフィラキシー	23	7

■第３室　B・J曼荼羅

No.	話	作品名（初出タイトル）	モノクロ（点）	カラー（点）
5	115	不発弾	2	
6	99	友よいずこ	2	
7	224	密室の少年	2	
8	71	けいれん	2	
9	227	刻印	2	
10	54	アリの足	1	
11	202	20 年目の暗示	2	
12	233	虚像	2	
13	242	笑い上戸	2	
14	236	話し合い	2	
15	117	未来への贈りもの	1	
16	235	再会	2	
17	122	三度目の正直	2	
18	171	壁	2	
19	131	青い恐怖	2	
20	141	湯治場の二人	2	
21	201	助けあい	2	
22	234	骨肉	2	
23	243	オペの順番	2	
24	151	ホスピタル	2	
25	159	お医者さんごっこ	2	
26	26	パク船長	2	
27	228	台風一過	2	
28	87	満月病	2	
29	203	がめつい同士	2	
30	240	流れ作業	2	
31	14	後遺症	2	
32	35	なにかが山を…	2	
33	83	地下水道	2	
34	34	ある教師と生徒	2	
35	192	命を生ける	2	
36	144	金！金！金！	2	
37	148	落としもの	2	
38	153	フィルムは二つあった	2	
39	162	気が弱いシラノ	2	
40	168	三者三様	2	
41	173	あつい夜	2	
42	174	身の代金	2	
43	187	キモダメシ	2	
44	212	ある女の場合	2	
45	172	命のきずな	2	
46	59	にいちゃんをかえせ！！	2	
47	194	二人三脚	2	
48	96	道すがら	2	

No.	話	作品名（初出タイトル）	モノクロ（点）	カラー（点）
49	102	奇妙な関係	2	
50	108	クマ	2	
51	156	音楽のある風景	2	
52	176	信号	2	
53	183	おとうと	2	
54	237	されどいつわりの日々	2	
55	17	灰色の館	2	
56	103	帰ってきたあいつ	2	
57	52	人面瘡	2	
58	152	約束	2	
59	40	焼け焦げた人形	2	
60	55	ストラディバリウス	2	
61	56	ふたりの黒い医者	2	
62	7	海賊の腕	2	
63	63	オオカミ少女	2	
64	66	火と灰の中	2	
65	182	ご意見無用	2	
66	186	アヴィナの島	2	
67	204	消えさった音	2	
68	161	上と下	2	
69	207	しめくくり	2	
70	18	二度死んだ少年	2	
71	19	木の芽	2	
72	167	春一番	2	
73	33	獅子面病	2	
74	61	針	2	
75	239	過ぎさりし一瞬	2	
76	92	奇胎	2	
77	32	閉ざされた三人	2	
78	163	本間血腫	2	
79	128	最後に残る者	2	
80	127	執念	2	
81	64	おまえが犯人だ！！	2	
82	45	白いライオン	2	
83	94	サギ師志願	2	
84	82	ハローＣＱ	2	
85	158	不死鳥	2	
86	25	灰とダイヤモンド	2	
87	22	血がとまらない	2	
88	15	ダーティー・ジャック	2	
89	88	報復	2	
90	121	曇りのち晴れ	2	
91	200	すりかえ	2	
92	89	おばあちゃん	2	
93	6	雪の夜ばなし	2	
94	68	えらばれたマスク	2	
95	107	小さな悪魔	2	
96	97	幸運な男	2	
97	48	電話が三度なった	2	
98	101	侵略者	2	
99	10	鬼子母神の息子	2	
100	150	激流	2	
101	119	ハリケーン	2	
102	164	勘当息子	2	
103	178	鯨にのまれた男	2	
104	90	シャチの詩	2	

No.	話	作品名（初出タイトル）	モノクロ（点）	カラー（点）
105	211	未知への挑戦	2	
106	214	鳥たちと野郎ども	2	
107	24	万引き犬	2	
108	190	一ぴきだけの丘	2	
109	215	山小屋の一夜	2	
110	155	コマドリと少年	4	
111	169	モルモット	2	
112	65	のろわれた手術	2	
113	31	化身	2	
114	98	犬のささやき	2	
115	110	デカの心臓	2	
116	136	戦場ガ原のゴリベエ	2	
117	125	老人と木	2	
118	93	水とあくたれ	2	
119	20	発作	2	
120	30	ピノコ生きてる	2	
121	38	ピノコ還る！	2	
122	69	ガス	2	
123	80	ピノコ・ラブストーリー	2	
124	104	ピノコ西へいく	2	
125	116	ハッスルピノコ	2	
126	129	殺しがやってくる	2	
127	140	畸形嚢腫パート２	2	
128	165	おとずれた思い出	2	
129	188	肩書き	2	
130	198	浮世風呂	2	
131	222	ピノコ・ミステリー	2	
132	75	スター誕生	2	
133	85	かりそめの愛を	2	
134	179	メス	2	
135	180	土砂降り	2	
136	130	霧	2	
137	206	山猫少年	2	
138	231	身代わり	2	
139	193	ある老婆の思い出	2	
140	36	しずむ女	2	
141	142	盗難	2	
142	133	てるてる坊主	2	
143	199	終電車	2	
144	157	B・J入院す	2	
145	232	復しゅうこそわが命	2	

■第４室　B・J　蘇生

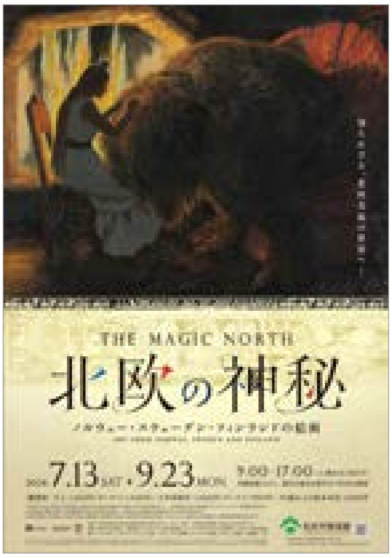
No.	話	作品名（初出タイトル）	モノクロ（点）	カラー（点）
146	17	灰色の館　タイトル画		2
147		新書版　ブラック・ジャック 第１巻　表紙画		1
148	99	友よいずこ　タイトル画		2
149	72	イレズミの男	3	
150	78	地下壕にて	4	
151	73	こっぱみじん	3	
152	16	ピノコ再び	4	
153	189	銃創	4	
154	91	病院ジャック	4	
155	230	U-18は知っていた	2	

No.	話	作品名（初出タイトル）	モノクロ（点）	カラー（点）
156	217	コレラさわぎ	4	
157	46	恐怖菌	1	
158	134	あるスターの死	2	
159	213	人形と警官	2	
160	9	ふたりの修二	2	
161	124	きみのミスだ！	2	
162	74	なんという舌	4	
163	123	ディンゴ	2	
164	11	ナダレ	4	
165	81	宝島	2	
166	147	昭和新山	1	
167	197	ゴーストタウンの流れ者	2	
168	241	短指症	2	
169	218	山手線の哲	2	
170	223	もらい水	2	
171	205	海は恋のかおり	2	
172	44	目撃者	3	
173	195	二人目がいた	2	
174	57	ブラック・クイーン	4	
175	39	純華飯店	2	
176	29	ときには真珠のように	3	
177	100	古和医院	2	
178	106	浦島太郎	2	
179	118	白い目	2	
180	132	研修医たち	2	
181	185	六等星	2	
182	238	B・Jそっくり	1	
183	37	２人のジャン	6	
184	42	赤ちゃんのバラード	2	
185	137	震動	2	
186	149	やり残しの家	4	
187	8	とざされた記憶	4	
188	95	魔王大尉	2	
189	219	戦争はなおも続く	3	
190	143	空からきた子ども	2	
191	67	ふたりのピノコ	4	
192	112	望郷	2	
193	5	人間鳥	4	
194	12	畸形嚢腫	4	
195	50	めぐり会い	4	
196	62	ネコと庄造と	4	
197	111	タイムアウト	2	
198	51	ちぢむ！！	4	
199	86	絵が死んでいる！	2	
200	225	動けソロモン	2	
201	229	人生という名のＳＬ	19	
202	13	ピノコ愛してる	19	
203	49	二つの愛	23	

原画点数　590

企画展覧会2

北欧の神秘
—ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画



■会期
2024年7月13日（土）～9月23日（月祝）
■会場
企画展示室
■入場者
27,120人（1日平均405人）
■主催
松本市美術館、NHK長野放送局、NHKプロモーション
■共催
信濃毎日新聞社、市民タイムス、MGプレス
■協賛
DNP大日本印刷
■特別協力
スウェーデン国立美術館、フィンランド国立アテネウム美術館、ノルウェー国立美術館
■協力
フィンエアー、フィンエアーカーゴ
■後援
スウェーデン大使館、フィンランド大使館、ノルウェー大使館
■企画協力
S2
■担当学芸員
中澤 聡、武藤 美紀、澁田見 彰、北原 麻椰、鰐川 枝里

［趣旨・総括］

ノルウェー、スウェーデン、フィンランド。北欧3か国の国立美術館が所蔵するコレクションの中から、19世紀から20世紀初頭にかけての北欧絵画を、「自然」「神話・おとぎ話」「都市」というテーマを軸に、紹介する展覧会を開催した。

北欧美術が独自の進化を遂げるようになったのは、19世紀以降とされる。それまでフランスやドイツなど大陸諸国の美術に範をとっていた北欧の画家たちは、ナショナリズムの高まりを背景に、次第に自国の自然や歴史、文化に強い関心を寄せるようになる。厳しい気候風土が育んだ自然の風景、古くから語り継がれてきた神話や民間伝承の物語、また近代化に伴い変容する都市の景観が、画家たちの手によって幻想的に描かれ、独自の絵画世界が形成されていった。とりわけ、1900年前後は北欧美術の黄金期とされ、エドヴァルド・ムンク（ノルウェー）、アウグスト・ストリンドバリ（スウェーデン）、アクセリ・ガッレン＝カッレラ（フィンランド）といった優れた芸術家たちが活躍した。

出品作品は47作家による約70点。日本では目にすることが少ない3か国の絵画が一同に会し、北欧文化の知られざる魅力に触れる貴重な機会となった。また、会場内ではノルウェーの画家、テオドール・キッテルセンが描いたトロルや妖精などの作品を映像で紹介。デリケートがゆえに展示が難しかった作品を、音と動きを交えて紹介し、平面作品を別の角度から展観した。

■関連行事
（1）講演会「北欧のこと、暮らしのこと」
日時：7月15日（月祝）午前10時～ 11時30分
講師：桒原さやか（ライター）
会場：多目的ホール
料金：無料
参加者数：73人

（2）ワークショップ「フィンランドのヒンメリづくり」初級・中級の２講座
日時：8月4日（日）、［初級］午前10時30分～正午［中級］午後2時～ 4時
講師：上原かなえ（クラフト作家）
会場：講座室、市民アトリエ
対象：［初級］小学生以上
［中級］中学生以上
料金：［初級］1,400円 ［中級］1,700円
参加者数：［初級］10人 ［中級］10人

（3）学芸員によるギャラリートーク
日時：①8月6日（火）、②8月27日（火）、③9月4日（水）各日午後2時～ 3時
※③は手話通訳付き
講師：中澤聡（松本市美術館学芸員）
会場：企画展示室
対象：一般（③は手話通訳を必要とする方と介助者）
料金：無料（ただし、本展観覧券が必要）
参加者数：計49人（①23人、②23人、③3人）

■印刷物
ポスター　B2判（カラー）、1,800部
チラシ　A4判（両面カラー）、40,000部

■図録
規格／B4判変形（282×225㎜）、総頁数176ページ
作品図版／カラー 70点
参考図版／カラー 45点、モノクロ3点

［出品リスト］

■序章　神秘の源泉―北欧美術の形成

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	所蔵
1	ヴェルネル・ホルムベリ	ハメ地方の郵便路、フィンランド	1860	油彩・カンヴァス	49.5 × 76.0	F
2	ファンニュ・クールベリ	ポルヴォー諸島の朝	1873	油彩・カンヴァス	49.5 × 76.0	F
3	ファンニュ・クールベリ	白樺の木立	1880	油彩・カンヴァス	31.0 × 38.5	F
4	マグヌス・フォン・ヴリクト	リーエラクスの風景、フィンランド	1861	油彩・カンヴァス	37.5 × 53.5	S
5	カール・ステファン・ベンネット	ストックホルム宮殿の眺め、冬	不詳	油彩・カンヴァス	45.5 × 58.5	S
6	ロベルト・ヴィルヘルム・エークマン	イルマタル	1860	油彩・カンヴァスに貼った紙	79.0 × 111.5	F
7	アウグスト・マルムストゥルム	踊る妖精たち	1866	油彩・カンヴァス	90.0 × 149.0	S
8	ヨーハン・クリスティアン・ダール	山岳風景、ノルウェー	1848	油彩・カンヴァス	55.0 × 82.0	S
9	ヨーハン・フレドリク・エッケシュバルグ	雪原	1851	油彩・カンヴァス	56.0 × 77.0	N
10	マルクス・ラーション	滝のある岩場の景観	1859	油彩・カンヴァス	78.0 × 124.0	S
11	トマス・ファーンライ	旅人のいる風景	1830	油彩・カンヴァス	49.0 × 66.5	N

■1章　自然の力

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	所蔵
12	ブルーノ・リリエフォッシュ	密猟者	1894	油彩・カンヴァス	180.0 × 118.0	S
13	ニルス・クレーゲル	春の夜	1896	油彩・パネル	48.5 × 60.1	S
14	ブルーノ・リリエフォッシュ	ワシミミズク	1905	油彩・カンヴァス	59.0 × 81.0	S
15	ハルマン・ノッルマン	雲の影	1899-1902	油彩・カンヴァス	117.0 × 117.0	S
16	アンナ・ボーバリ	羊飼い小屋のある夏の風景、ノルウェー北部での習作	不詳	油彩・カンヴァス	38.0 × 50.0	S
17	ニルス・クレーゲル	ヴァールバリのホステン丘II	1896	油彩・カンヴァス	77.0 × 117.0	S
18	ヘルメル・オッスルンド	カッルシューン湖周辺の夏の夜	不詳	油彩・カンヴァス	61.5 × 81.5	S
19	アンナ・ボーバリ	山に囲まれた湖、ノルウェー北部での習作	不詳	油彩・厚紙に裏打ちした厚紙	22.0 × 29.0	S
20	ニコライ・アストルプ	ジギタリス	1909	油彩・カンヴァス	87.0 × 115.0	N
21	エドヴァルド・ムンク	フィヨルドの冬	1915	油彩・カンヴァス	103.0 × 128.0	N
22	ハーラル・ソールバルグ	午後の日差し	1895	油彩・カンヴァス	65.0 × 81.5	N
23	ペッカ・ハロネン	河岸	1897	油彩・カンヴァス	39.5 × 57.0	F
24	ハンス・フレドリク・グーデ	フースヴィーク桟橋、ドローバック	1875	油彩・カンヴァス	35.0 × 46.0	S
25	ニコライ・アストルプ	ユルステルの春の夜	1926	油彩・カンヴァス	89.5 × 110.5	N
26	ハルフダン・エゲーディウス	夏、テーレマルクのボー	1896	油彩・カンヴァス	87.0 × 62.0	N
27	ガブリエル・エングベリ	湖上の雪解け	1902	油彩・カンヴァス	49.5 × 59.0	F
28	ヴェルネル・ホルムベリ	フィンランドの風景	1855	油彩・カンヴァス	50.0 × 71.5	F
29	エーロ・ヤルネフェルト	雲の習作	1893	油彩・カンヴァス	48.0 × 37.5	F
30	ヴィクトル・ヴェステルホルム	クヌーツボーダの岩	1909	油彩・カンヴァス	46.5 × 55.0	F
31	ヴァイノ・ブロムステット	初雪	1896	油彩・木製パネル	54.9 × 44.8	F
32	ヴァイノ・ブロムステット	冬の日	1896	油彩・木製パネル	26.5 × 52.0	F
33	アイリフ・ペッテシェン	夜景画	1887	油彩・カンヴァス	81.5 × 81.5	N
34	ヴァイノ・ブロムステット	弓の射手	1897	油彩・厚紙に貼ったカンヴァス	70.0 × 67.0	F

■2章　魔力の宿る森―北欧美術における英雄と妖精

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	所蔵
35	テオドール・キッテルセン	アスケラッドとオオカミ	1900	油彩・カンヴァス	45.5 × 68.5	N
36	テオドール・キッテルセン	アスケラッドと黄金の鳥	1900	油彩・カンヴァス	46.0 × 69.0	N
37	ガーラル・ムンテ	トロルのシラミ取りをする姫	1900	油彩・カンヴァス	45.5 × 68.5	N
38	ガーラル・ムンテ	山の門の前に立つオースムン	1902-1904	油彩・カンヴァス	62.0 × 121.5	N
39	ガーラル・ムンテ	一の間	1902-1904	油彩・カンヴァス	62.0 × 127.5	N
40	ガーラル・ムンテ	五の間	1902-1904	油彩・カンヴァス	62.0 × 128.0	N
41	ガーラル・ムンテ	帰還するオースムンと姫	1902-1904	油彩・カンヴァス	62.0 × 126.5	N
42	エーリク・ヴァーレンショル	山の中の神隠し	1928	油彩・カンヴァス	125.0 × 158.0	N
43	フーゴ・シンベリ	森の中の逃避	1903	油彩・カンヴァス	95.0 × 110.0	S
44	ガーラル・ムンテ	素晴らしい花	不詳	油彩・カンヴァス	38.5 × 28.0	S

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	所蔵
45	アウグスト・マルムストゥルム	スレイプニルにまたがるオージンのタピスリー	1914	羊毛	125.0 × 102.0	S
46	アーンシュト・ヨーセフソン	フリチョフの誘惑（『フリチョフ物語』より）	1880 頃	油彩・カンヴァスに貼った紙	100.0 × 73.0	S
47	トルステン・ヴァサスティエルナ	水の精	1882	油彩・カンヴァス	144.0 × 114.0	S
48	ヨセフ・アラネン	ベニテングタケの陰に隠れる姫と蝶（《おとぎ話の姫》のためのスケッチ）	1895-1896	油彩・パネルに貼ったカンヴァス	34.5 × 41.5	F
49	ヨセフ・アラネン	野生の鴨と天体	1919-1920	テンペラ・カンヴァス	40.5 × 55.5	F
50	J.A.G. アッケ	金属の街の夏至祭	1898	油彩・カンヴァス	116.5 × 230.0	S

■3章　都市―現実世界を描く

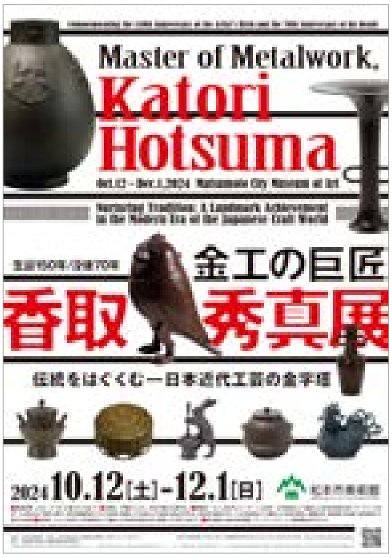
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	所蔵
51	エウシェン王子	工場、ヴァルデマッシュウッデからサルトシュークヴァーン製粉工場の眺め	不詳	油彩・カンヴァス	90.0 × 100.0	S
52	エウシェン王子	初冬の朝	1906 あるいは 1907	油彩・カンヴァス	78.0 × 89.0	S
53	アウグスト・ストリンドバリ	街	1903	油彩・カンヴァス	94.5 × 53.0	S
54	ブルーノ・リリエフォッシュ	そり遊び	1882	油彩・カンヴァス	50.0 × 61.0	S
55	エウシェン・ヤンソン	ティンメルマンスガータン通りの風景	1899	油彩・カンヴァス	172.0 × 120.0	S
56	エンマ・トゥル	リッダルホルメンの風景	不詳	油彩・カンヴァス	34.0 × 25.0	S
57	アルフレッド・バリストゥルム	ストックホルムの水辺の冬景色	1899	油彩・カンヴァス	81.5 × 110.6	S
58	アンスヘルム・シュルツバリ	古い孤児院の取り壊し	1886	油彩・カンヴァス	98.0 × 120.0	S
59	カール・ノードストゥルム	スカンセンからのストックホルムの眺め	1889	油彩・カンヴァス	62.0 × 121.0	S
60	ルイ・スパッレ	ヘルシンキの冬のモチーフ	1907	油彩・カンヴァス	82.0 × 66.0	S
61	クリスティアン・クローグ	生存のための闘争（ノルウェー国立美術館収蔵作品のための部分習作）	不詳	油彩・カンヴァス	112.0 × 65.0	S
62	カール・ヴィルヘルムソン	村の店	1896	油彩・カンヴァス	85.0 × 75.0	S
63	カール・ヴィルヘルムソン	諦念	1895	油彩・カンヴァス	90.0 × 90.0	S
64	エドヴァルド・ムンク	ベランダにて	1902	油彩・カンヴァス	86.5 × 115.5	N
65	アンデシュ・ソーン	コール・マルギット	1901	油彩・カンヴァス	72.0 × 57.0	S
66	トルステン・ヴァサスティエルナ	ルドルフィナ・ヴァサスティエルナ邸の室内、ポホヨイスランタ6番地、ヘルシンキ	1889	油彩・カンヴァス	49.5 × 45.5	F
67	アルベルト・エーデルフェルト	ラリン・パラスケの哀歌	1893	油彩・カンヴァス	47.0 × 63.0	F
68	アクセリ・ガッレン＝カッレラ	画家の母	1896	テンペラ・カンヴァス	33.0 × 29.0	S

所蔵先の表記は以下のとおり
S：スウェーデン国立美術館　F：フィンランド国立アテネウム美術館　N：ノルウェー国立美術館

企画展覧会３

生誕150年／没後70年

金工の巨匠　香取秀真展



■会期
2024年10月12日（土）～ 12月1日（日）
■会場
企画展示室
■入場者
11,392人（1日平均259人）
■主催
松本市美術館
■共催
SBC信越放送、信濃毎日新聞社、市民タイムス、MGプレス
■協力
茶道裏千家淡交会長野県支部中信分会
■担当学芸員
稲村 純子、原澤 知也、澁田見 彰

［趣旨・総括］

近代工芸史に大きな足跡を残した金工作家、香取秀真（かとりほつま）（1874-1954、本名・秀治郎）の作品を一堂に展示する大規模回顧展を開催した。

秀真は現在の千葉県印西市に生まれ、1892年に東京美術学校に入学する。同校卒業後は、多くの展覧会で受賞を重ね、鋳金家として活躍する。その作風は、高度な伝統的技術を身に付け、東洋や日本の古典の紋様や形に基づきながらも時代感覚を取り入れ、実用を重視したものであった。また、多くの後進を育てると共に工芸界全体の発展に尽力し、帝展に美術工芸部門を設置する運動では、中心的な役割を果たした。さらに、金工の研究を精力的に行い、それは日本金工史の原点とも言える仕事となった。これらの功績から、1953年に工芸家として初の文化勲章を受章している。また、正岡子規門下のアララギ派の歌人としても知られ、多方面で活躍した。

秀真は、妻が現在の長野県塩尻市の出身であったことから松本へ訪れる機会も多く、1944年から約3年間は松本市郊外に疎開していた。その間、疎開先の家族や松本の文人達と交流を持ち、戦後も松本市内の寺院の梵鐘を作るなど、関係は途切れることなく続いた。松本市美術館所蔵の池上百竹亭コレクション（松本市の文人・池上喜作が蒐集した作品群）には、秀真の作品が多数ある。深い親交の中から集められた作品は、鋳金だけでなく書画等があり、秀真と松本との繋がりを垣間見ることができ、本展の開催につながることとなった。

関連プログラムでは、個人蔵の秀真作の釜を実際に用いたお茶会を開催し、好評を博した。また、鋳金という技法に親しむワークショップを開催し、普段はあまり挑戦することのできない金属を使ったものづくりを体験できた。

本展は、香取秀真の生誕150年、没後70年という記念の年に開催し、金工作品を一堂に展示するだけでなく、歌人としての側面も捉え、さらに、松本市内に残る梵鐘など秀真の足跡を辿ることによって松本平との関係についても顕彰する機会となった。松本の地に香取秀真という作家がいたことを広く知っていただくことができ、意義のある展覧会となった。

■関連行事
(1) お茶席（本展観覧者限定）
日時：10月19日（土）午前10時〜午後3時
協力：茶道裏千家淡交会長野県支部中信分会
会場：中庭
料金：無料（ただし、本展観覧券が必要）
内容：香取秀真の釜を用いたお茶席で、お抹茶とお菓子を提供した。
参加者数：166人
(2) ワークショップ「鋳金に挑戦！金属を溶かしてオリジナルチャームをつくろう」
日時：11月23日（土祝）①午前10時〜 12時　②午後2時〜 4時
講師：本山ひろ子氏（鋳金家）
会場：講座室・市民アトリエ
対象：小学生以上（小学3年生までは保護者同伴）
料金：3,000円
内容：コウイカの骨を削って鋳型をつくり、溶かした金属を流してオリジナルのキーホルダーなどを制作した。
参加者数：計23人（①11人、②12人）
(3) 学芸員によるギャラリートーク
日時：①10月29日（火）、②11月2日（土）、③11月7日（木）、④11月20日（水）各日午後2時〜
※③は手話通訳付き
講師：稲村純子（松本市美術館学芸員）
会場：企画展示室
対象：一般（③は手話通訳を必要とする方と介助者）
料金：無料（ただし、本展観覧券が必要）
参加者数：計41人（①22人、②7人、③0人、④12人）

■印刷物
ポスター　B2判（カラー）、1,800部
チラシ　A4判（両面カラー）、35,000部

■図録
規格／ 245㎜×192㎜、総頁数146ページ
作品図版／カラー 119点
参考図版／カラー 25点、モノクロ14点
執筆／本橋浩介（佐倉市立美術館副主幹（学芸員））、小川稔（松本市美術館館長）、稲村純子（松本市美術館学芸員）、原澤知也（松本市美術館学芸員）
企画・構成／松本市美術館
編集／稲村純子、原澤知也、澁田見彰（いずれも松本市美術館学芸員）
発行／松本市美術館
内容／ごあいさつ
目次
〔「古典派」再考―香取秀真の時代と思想〕本橋浩介
〔工芸と文芸〕小川稔
図版
はじめに
多彩な活動
秀真の真骨頂
秀真と松本
資料
〔香取秀真と松本〕稲村純子
松本市内に残る香取秀真の梵鐘　原澤知也編
年譜
作品リスト

［出品リスト］

No.	作品名	制作年		寸法（cm）	所蔵先
1	古代神像	1897	明治30年	60.0×21.2×19.0	東京藝術大学
2	唐銅葡萄額面	1893-97頃	明治26-30年頃	26.3×34.8	東京藝術大学
3	烏銅鳳凰香炉	1911	明治44年	15.3×17.3×7.8	千葉県立美術館
4	鳳凰香炉	1911頃	明治44年頃	16.0×19.0	東京藝術大学
5	瑞鳥銅印	1904頃	明治37年頃	（1）9.2×3.4×3.4 （2）9.3×3.4×3.4 （3）7.7×1.75×3.4	東京藝術大学
6	唐草文花瓶	1912	明治45年	20.2×17.9	千葉県立美術館［北詰コレクション］
7	鋳銅瑞獣置物	1916	大正5年	25.9×38.5×13.8	個人
8	銅印	不詳		7.5×4.3×4.3	東京藝術大学
9	金銅獅脚鑪	1925	大正14年	13.6×11.7×11.3	千葉県立美術館［北詰コレクション］
10	香炉	1933	昭和8年	14.1×17.9	東京藝術大学
11	布袋	不詳		16.9×15.8×29.8	千葉県立美術館［北詰コレクション］
12	蟠龍文方鏡	不詳		21.0×21.0	東京藝術大学
13	鳥花文八稜鏡	1929	昭和4年	1.3×31.5	千葉県立美術館［北詰コレクション］
14	松鶴鏡	不詳		0.6×10.5	佐倉市立美術館
15	瑞花瑞鳥文鋳銅八稜鑑	1926-40頃	昭和初期	9.5×24.5	京都国立近代美術館
16	鼎式香炉	不詳		13.7×18.6×14.7	千葉県立美術館［北詰コレクション］
17	両耳三足香炉猊鈕唐草文	1928	昭和3年	13.7×17.9×14.7	千葉県立美術館［北詰コレクション］
18	寶鼎	1910	明治43年	20.1×19.9×15.7	個人
19	波千鳥文車輪釜	1921	大正10年	19.9×26.9	千葉県立美術館［北詰コレクション］
20	千本松文釜及び鳳凰文風炉	1934以前	昭和9年以前	15.0×24.3	千葉県立美術館
21	台子道具 皆具	1926-40頃	昭和初期	風炉釜35.0×35.0 水指19.8×19.4 建水7.2×15.6 杓立16.2×7.6 蓋置5.2×6.6	出光美術館
22	深口釜	1938頃	昭和13年頃	20.0×25.7	京都国立近代美術館
23	群兎文姥口釜	1939	昭和14年	15.9×24.8	静嘉堂文庫美術館
24	白銅三猿釜	1944	昭和19年	17.0×20.3×18.6	佐倉市立美術館
25	片輪車文からかね羽釜	不詳		15.7×24.2	千葉県立美術館［北詰コレクション］
26	菊文釜	不詳		18.0×28.0	千葉県立美術館
27	瑞獣文花瓶	1928	昭和3年	45.5×45.0	東京国立博物館
28	花鳥文線刻大壺	不詳		38.8×29.5	千葉県立美術館［北詰コレクション］
29	團文壷花瓶	不詳		26.0×30.0	佐倉市立美術館
30	雷文花瓶	1931	昭和6年	38.1×17.0	千葉県立美術館［北詰コレクション］
31	鴛鴦文銅花瓶	1941	昭和16年	24.5×18.5	佐倉市立美術館
32	群鹿馳駆花瓶	不詳		20.2×16.1	千葉県立美術館［北詰コレクション］
33	鹿耳花瓶	不詳		31.6×13.8	千葉県立美術館［北詰コレクション］
34	鹿耳灰落	不詳		11.2×15.4×11.3	千葉県立美術館［北詰コレクション］
35	牡丹文花瓶	1945-54頃	昭和20年代	23.9×10.7	東京国立博物館
36	口廣花入	不詳		27.0×16.0	佐倉市立美術館
37	鋳銅耳付花瓶	1915	大正4年	22.5×11.5×7.4	千葉県立美術館［北詰コレクション］
38	秘露九池花入	不詳		21.3×17.5	千葉県立美術館［北詰コレクション］
39	六角火鉢	不詳		19.3×35.0×30.5	千葉県立美術館
40	鉄瓶 菊桜文	不詳		22.0×21.0	佐倉市立美術館
41	おぐらやま文鉄瓶	1935以前	昭和10年以前	17.8×16.0×14.3	千葉県立美術館［北詰コレクション］
42	獅子つまみ水さし	1936	昭和11年	19.6×21.1	千葉県立美術館［北詰コレクション］
43	糸目銕銚子	不詳		12.7×16.1×13.5	千葉県立美術館［北詰コレクション］
44	藤原時代古瓦茶托	1914	大正3年	2.0×13.0×6点	京都国立近代美術館
45	銅製茶托	不詳		1.8×11.3×2点	千葉県立美術館
46	灰落とし	1912	大正元年	3.7×9.5×13.5	京都国立近代美術館
47	竜文鎮	1937頃	昭和12年頃	9.8×44.5×4.8	千葉県立美術館［北詰コレクション］
48	鐘形硯	不詳		16.2×9.7	東京藝術大学
49	桔梗文鎮	不詳		2.9×13.2×4.9	個人
50	吉野匂水滴	1936	昭和11年	1.8×8.0×5.6	個人

No.	作品名	制作年		寸法（cm）	所蔵先
51	獅文水滴	不詳		2.1×6.4×4.5	佐倉市立美術館
52	美々豆久香炉	不詳		17.8×8.6×11.4	千葉県立美術館
53	夔竜文香炉	不詳		33.2×33.8×31.9	千葉県立美術館［北詰コレクション］
54	朧銀草文透香炉	不詳		14.3×13.2×11.8	千葉県立美術館［北詰コレクション］
55	獅子鈕獅子耳香炉	1941	昭和16年	21.5×19.0	東京国立博物館
56	獅鈕獅耳香鑪	不詳		17.5×16.5	佐倉市立美術館
57	獅子牡丹文香鑪	不詳		11.4×10.2	千葉県立美術館［北詰コレクション］
58	鋳銅鳴禽置物	1940	昭和15年	31.0×19.0×7.2	出光美術館
59	鋳銅母子獅子香炉	1944	昭和19年	20.0×20.3×14.3	出光美術館
60	鹿鈕四方香鑪	不詳		11.0×8.2×8.2	佐倉市立美術館
61	虎香炉	1926-54頃	昭和時代	15.5×9.3×12.3	東京国立博物館
62	鳳凰香炉	1942	昭和17年	24.6×14.8×10.8	千葉県立美術館［北詰コレクション］
63	宝船香炉	1946	昭和21年	14.5×25.2×9.6	熱田神宮
64	笑獅子香炉	1948	昭和23年	20.2×16.0	千葉県立美術館
65	玉兎搗薬置物	不詳		20.5×13.6×8.0	佐倉市立美術館
66	瑞鳥飾三足鑪	不詳		17.0×12.7	千葉県立美術館
67	鳩香炉	1949	昭和24年	15.0×12.0×7.5	千葉県立美術館
68	木菟香炉	1948	昭和23年	11.0×6.0×7.0	京都国立近代美術館
69	みみづく香炉	1953	昭和28年	13.5×9.5×9.5	京都国立近代美術館
70	釜 竹林群雀文	不詳		21.2×22.5	
71	風炉	1940	昭和15年	19.8×33.2	
72	蓋置	1951	昭和26年	5.0×4.9×5.7	個人
73	蓋置	不詳		3.1×4.3×4.3	個人
74	鉄瓶 繰口八角形	1935以前	昭和10年以前	24.0×21.5×17.3	
75	松竹文甑口鉄瓶	1935以前	昭和10年以前	21.0×20.0×18.0	松本市立博物館［胡桃沢コレクション］
76	鋳銅花瓶※	1936以前	昭和11年頃	24.0×7.5	松本市立博物館［胡桃沢コレクション］
77	茶托	不詳		2.0×11.1×5点	松本市立博物館［胡桃沢コレクション］
78	文鎮 唐墨	不詳		1.4×1.7×7.8	松本市立博物館［胡桃沢コレクション］
79	文鎮 枇杷	不詳		2.5×14.1×5.0	松本市立博物館［胡桃沢コレクション］
80	筋入花瓶	不詳		29.6×16.8	
81	中蕪花挿※	不詳		19.5×4.1	個人
82	ほそくち花入	不詳		24.5×13.0	個人
83	観音菩薩立像※	不詳		16.5×6.0×5.0	個人
84	鶏文鎮	1929頃	昭和4年頃	7.0×4.5×6.5	個人
85	銅印	不詳		3.3×2.5×2.5	個人
86	銅印	不詳		2.6×1.7	個人
87	銅印	1948	昭和23年	4.8×2.0×3.8	個人
88	銅印	不詳		2.7×2.6×2.6	個人
89	牡丹文手炉	不詳		17.5×21.0×2点	個人
90	鳳飾香炉	不詳		17.5×11.0	松本市立博物館
91	鳳凰香炉※	1940	昭和15年	17.0×13.5×6.5	個人
92	百竹亭	1937	昭和12年	30.5×63.6	
93	子規居士が画	1937	昭和12年	56.0×33.7	
94	三城の歌	1939	昭和14年	69.6×27.0	
95	秋風の歌並びになすびの画	1941	昭和16年	35.0×36.8	
96	松茸の画並びに歌	1941	昭和16年	34.8×34.3	
97	牛伏寺の歌	1931以降	昭和6年以降	35.3×47.8	
98	竹の画	1943	昭和18年	各139.8×16.5（双幅）	
99	竹林明月図	1945	昭和20年	36.2×45.2	
100	生妻の家 歌：香取秀真 挿絵：太田南海	1946	昭和21年	28.5×52.3	
101	「うすしもは…」歌	1945以降	昭和20年以降	25.0×35.0	佐倉市立美術館
102	「はつなつの…」歌	1953	昭和28年	138.5×69.6	松本市立山辺中学校
103	鰐口拓本	1936	昭和11年	130.8×34.0	
104	いりやまべ（楽寿帖・寿帖のうち）	1944	昭和19年	21.2×18.3	

No.	作品名	制作年		寸法（cm）	所蔵先
105	雪白帖（楽寿帖・五老帖のうち）	1946	昭和21年	22.2×18.0	
106	太田南海作 香取秀真先生像	1953	昭和28年	27.5×21.5×13.0	

作品名の最後に「※」のある作品は、作品名不詳等のため、形状・文様などにより適宜作品名を付した。

企画展覧会4

フィロス・コレクション
ロートレック展　時をつかむ線

■会期
2025年1月18日（土）～4月6日（日）
■会場
企画展示室
■入場者
26,040人（1日平均383人）
■主催
松本市美術館、テレビ信州
■協賛
光村印刷
■協力
NX日本通運、日本貨物航空
■後援
信濃毎日新聞社、読売新聞長野支局、市民タイムス
■企画協力
日テレイベンツ、日本テレビサービス
■担当学芸員
大島 武、中澤 聡、鰐川 枝里、藤原 裕希

［趣旨・総括］

19世紀末フランスを代表する画家、アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック（1864-1901）。本展は、ロートレックによる紙作品の個人コレクションとしては世界最大級にして、本邦初公開となるアメリカのフィロス・コレクションの展覧会で、国内3ヶ所を巡回する最終会場として開催した。

展示は、約240点の作品資料により5つのテーマで構成。第1章はコレクションの核となっている「素描」約45点をまとめて紹介。「線の画家」といわれるロートレック芸術の真髄に迫った。第2章は「ロートレックの世界」と題し、20歳頃にモンマルトルにアトリエを構えた画家が通いつめて描いたカフェ・コンセール、ダンス・ホール、キャバレなど、大衆文化を伝える作品の数々。そこに生きる歌手や芸人、娼婦など、世紀末パリの喧噪や時代を生きた人々の姿を浮かび上がらせた。第3章は「出版」に関する書籍のための挿絵、雑誌や歌曲集の仕事。画家の多様にして多彩な画業を紹介した。第4章は画家の代名詞といえる「ポスター」。ロートレックは生涯に約30点を制作しているが、本展ではそのうち21点を展示。本コレクションは特に状態の良いものを厳選し、さらに第三者が文字入れをする前の刷りも多く収集しており、充実したコーナーとなった。最終章は「私的生活と晩年」。家族や知人にあてた直筆の手紙、プライベート写真、自身でデザインしたメニューカードなどの貴重な資料のほか、晩年に描かれた版画作品をとおし、多才にして人なつこく、周囲の人々に愛されたロートレックの人となりが垣間見えた。

伯爵家の息子として生まれ、少年時代に不遇の事故で下半身の成長が止まったことでさらに絵画に専念し、ポスターで一世を風靡するも36歳という若さで亡くなったロートレック。本展は、時代を駆け抜けた画家の人生が濃密に詰まった、かつてない「ロートレック展」として注目を集めた。

■関連行事
(1) 大学生が感じた「ロートレック」の世界
信州大学美術研究会の有志が、ロートレックの作品や生涯からインスピレーションを得て絵画制作。市内3ヶ所で移動展示した。
会期：①1月19日（日）～2月2日（日）、
②2月8日（土）～3月2日（日）、
③3月5日（水）～3月30日（日）
会場：①まつもと市民芸術館、
②CAFE SWEET 縄手本店、
③時代遅れの洋食屋 おきな堂
(2) 高校生が学んだ「ロートレック」のイメージ
松本市のエクセラン高等学校美術科2年生16名が、美術史の授業でロートレックについて学び、絵画や立体作品、仮想のポスターなどを制作。会期中、当館で展示した。
会期：2月12日（水）～3月30日（日）
会場：プロムナード
(3) 限定スペシャルランチ付き学芸員によるギャラリートーク
美食家ロートレックにちなみ、当館レストラン「SHOKUDO＆CAFÉ yumyum」のスペシャルコースランチが付いたギャラリートークを開催した。
日時：①2月19日（水）、②3月5日（水）
各日午前11時～午後1時
講師：大島武（松本市美術館学芸員）
会場：企画展示室、カフェ・レストラン
対象：一般
料金：5,000円（当日有効の本展観覧券付）
参加者数：計27人（①15人、②12人）
(4) 学芸員によるギャラリートーク
日時：①2月6日（木）、②2月27日（木）、
③3月13日（木）
各日午前11時～11時40分
講師：大島武（松本市美術館学芸員）
会場：企画展示室
対象：一般
料金：無料（ただし、本展観覧券が必要）
参加者数：計84人（①23人、②37人、
③24人）

■印刷物
ポスター　B2判（カラー）、2,000部
チラシ　A4判（両面カラー）、40,000部

■図録
規格／220×190㎜、総頁数290ページ
作品図版／カラー300点
参考図版／カラー80点

［出品リスト］

■第1章　素描

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1-1.	アマゾン（女騎手）	1876	鉛筆・紙	18.1×23.2
1-2.	騎馬戦	1876	鉛筆・紙	18.0×23.4
1-3.	騎手	1879	鉛筆・紙	14.5×24.3
1-4.	熊	1879	ペン、インク・紙	20.2×31.0
1-5.	騎手	1879-81	ペン、インク・紙	31.3×19.8
1-6r.	馬、背後から見た騎手	不詳	鉛筆・紙	21.2×31.0
1-6v.	騎兵	不詳	鉛筆・紙	21.2×31.0
1-7r.	シルクハットの騎手	1879	鉛筆・紙	18.8×26.5
1-7v.	男性頭部	1879	鉛筆・紙	18.8×26.5
1-8r.	ボート	不詳	鉛筆・紙	15.8×25.5
1-8v.	男性、馬、カエル	不詳	鉛筆・紙	15.8×25.5
1-9r.	四輪馬車	不詳	鉛筆・紙	15.8×25.5
1-9v.	馬	不詳	鉛筆・紙	15.8×25.5
1-10.	座る女性	不詳	鉛筆・色紙	15.8×25.5
1-11r.	散歩	1876-81	鉛筆・紙	14.5×9.5
1-11v.	散歩	1876-81	鉛筆・紙	9.5×14.5
1-12.	司祭	1879	ペン、インク・紙	21.3×15.0
1-13.	伏せる犬	1879	鉛筆・紙	13.5×21.5
1-14r.	家	1880	鉛筆・紙	12.6×22.0
1-14v.	読書	1880	鉛筆・紙	12.6×22.0
1-15.	騎手	1880	鉛筆・紙	20.0×19.0
1-16r.	ハヤブサと人物（側面）	1881	鉛筆・紙	16.5×26.8
1-16v.	男性頭部と女性の横顔	1881	鉛筆・紙	16.5×26.8
1-17.	人物	1881	鉛筆・紙	12.7×17.0
1-18-1.	ド・ガリ子爵の横顔	1881	鉛筆・紙	17.0×11.5
1-18-2.	ド・ガリ子爵の後ろ姿	1881	鉛筆・紙	17.0×11.5
1-18-3.	ド・ガリ子爵と馬の頭部	1881	鉛筆・紙	17.0×11.5
1-19r.	馬	1881	鉛筆・紙	16.8×26.5
1-19v.	騎手と二頭の馬	1881	鉛筆・紙	16.8×26.5
1-20.	ダンサー	1881	鉛筆・紙	16.8×26.5
1-21.	馬車	1883	鉛筆・紙	13.0×20.7
1-22.	トゥールーズ＝ロートレック伯爵の横顔	1885	水彩・紙（淡彩画）	21.3×27.0
1-23.	アルフォンス・ド・トゥールーズ＝ロートレック伯爵の肖像	1888頃	鉛筆・紙	10.5×12.0
1-24.	ポスター『快楽の女王』のための習作	1892	青鉛筆、赤鉛筆・紙	20.0×10.6
1-25.	男性頭部（ガレ氏の横顔）	1892	ペン、インク・紙	21.8×13.5
1-26.	芸術家の肖像	1893	鉛筆・紙	27.0×15.4
1-27r.	女性頭部	1894	青鉛筆・紙	15.0×23.3
1-27v.	横向きの男性立像	1894	鉛筆・紙	23.3×15.0
1-28.	女性頭部	1894	ペン、インク・紙	13.5×10.6
1-29.	ふたりのシルクハットの男性	1894	鉛筆・紙	15.5×12.3
1-30.	裸の自画像	1894	鉛筆・紙	20.0×31.0
1-31r.	女性頭部	1894	鉛筆・紙	17.4×27.2
1-31v.	女性と男性の頭部	1894	鉛筆・紙	17.4×27.2
1-32.	横向きの男性頭部	1895	鉛筆・紙	9.0×7.0
1-33.	女性の横顔	1895	鉛筆・紙	22.5×18.0
1-34.	アルカションの男性のカリカチュア	1896	鉛筆・紙	18.0×18.0
1-35r.	X氏	1896	鉛筆・紙	31.2×20.5
1-35v.	男性頭部（パイプをくわえた男）	1896	鉛筆・紙	31.2×20.5
1-36.	女性頭部、リヌイユ夫人	1896	ペン、インク・紙	16.5×11.0
1-37r.	詩人カチュール・マンデス	1896頃	鉛筆・紙	28.0×22.5
1-37v.	詩人カチュール・マンデス	1896頃	鉛筆・紙	28.0×22.5
1-38.	七面鳥	1899	鉛筆・紙	17.0×23.5
1-39.	老人	1893頃	鉛筆・紙	17.5×11.5

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1-40.	傘をさす女	不詳	鉛筆・紙	21.0×30.0
1-41.	帽子の男、横向き	不詳	鉛筆・紙	29.7×21.2
1-42.	帽子の男、後ろ向き	不詳	色鉛筆・紙	28.7×19.2
1-43r.	兵隊	不詳	鉛筆・紙	21.0×30.5
1-43v.	騎手と馬の頭部	不詳	鉛筆・紙	21.0×30.5
1-44.	馬	不詳	鉛筆・紙	19.0×29.3
1-45r.	オウム	不詳	鉛筆・紙	21.0×30.5
1-45v.	オウム	不詳	鉛筆・紙	21.0×30.5

■第2章　ロートレックの世界—カフェ・コンセール、ダンスホール、キャバレ…

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
2-1.	ムーラン・ルージュのお祭り	1893	リトグラフ	38.0×56.0
2-2.	ムーラン・ルージュにて、露仏同盟	1894	リトグラフ	38.0×28.0
2-3.	『ル・カフェ・コンセール』	1893	リトグラフ	各44.0×32.0
2-3-1.	アンリ＝ガブリエル・イベルス 表紙			
2-3-2.	ジャヌ・アヴリル			
2-3-3.	イヴェット・ギルベール			
2-3-4.	ポーラ・ブレビオン			
2-3-5.	メアリー・ハミルトン			
2-3-6.	エドメ・レスコ			
2-3-7.	マダム・アブダラ			
2-3-8.	アリスティド・ブリュアン			
2-3-9.	プティ・カジノのコーデュー			
2-3-10.	アンバサドゥールのデュカール			
2-3-11.	観客			
2-3-12.	アメリカの歌手			
2-4.	喜劇役者コーデュー	1894	ペン、インク・紙	20.5×11.3
2-5.	アンバサドゥールにて、カフェ・コンセールの歌手	1894	リトグラフ	61.0×43.0
2-6.	ジュディック	1894	リトグラフ	38.0×28.0
2-7.	ポワ・ヴェール嬢	1895	リトグラフ	51.5×40.0
2-8.	イヴェット・ギルベール	1893	水彩・紙	23.0×12.6
2-9.	アルバム『イヴェット・ギルベール』のための広告	1894	リトグラフ	16.5×17.5
2-10-1 ～17.	アルバム『イヴェット・ギルベール』	1894	リトグラフ	40.9×39.0
2-11-1.	アルバム『イヴェット・ギルベール』第5頁（文字のせ前）	1894	リトグラフ	38.5×29.0
2-11-2.	アルバム『イヴェット・ギルベール』第8頁（文字のせ前）	1894	リトグラフ	32.0×14.2
2-12.	観客に挨拶するイヴェット・ギルベール	1898	リトグラフ	49.5×38.0
資料A.	イヴェット・ギルベール著 『歌謡のための技法』	1928		19.0×12.2×1.0 （閉じた状態）
2-13-1.	楽譜『老紳士たち』のタイトルページ（文字のせ前）	1894	リトグラフ	52.0×40.0
2-13-2.	楽譜『老紳士たち』のタイトルページ	1894	リトグラフ	32.5×23.5
2-14.	キャバレのアリスティド・ブリュアン（文字のせ前）	1893	リトグラフ	127.3×95.0
資料B.	アリスティド・ブリュアン著 『路上にて－詩と歌謡選集』	1924		18.5×13.5×1.0 （閉じた状態）
資料C.	アリスティド・ブリュアンの旧蔵品			
2-15.	ヴァリエテ座にて、ランデールとブラッスール	1893	リトグラフ	33.5×26.5
2-16.	マルセル・ランデール嬢の胸像	1895	リトグラフ	59.0×41.0
2-17.	挨拶するランデール	1895	リトグラフ	51.5×40.0
2-18.	マルセル・ランデール嬢の立像	1895	リトグラフ	56.5×37.3
2-19.	『アレタンの息子』のランデールとラヴァリエール	1895	リトグラフ	61.5×47.3
2-20.	マルセル・ランデール	1896	ペン、インク・紙	15.0×10.5
2-21.	斜め向きのランデール嬢の胸像	1898	リトグラフ、サンギーヌ ・色紙（青灰色）	47.5×30.5
2-22.	バーのアイダ・ヒース	1894	リトグラフ	38.0×28.0
2-23.	アイダ・ヒース嬢	1894	リトグラフ	47.5×33.0
2-24.	リュス・ミレース	1895	リトグラフ	56.0×38.0

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
2-25.	正面向きのリュス・ミレース	1895	リトグラフ	49.0×35.5
2-26.	『アンティゴネ』のバルテとムネ＝シュリー	1893	リトグラフ	38.0×28.0
2-27.	『女学者』	1893	リトグラフ	38.0×28.0
2-28.	『無遠慮夫人』のレジャーヌとガリポー	1893	リトグラフ	39.0×28.0
2-29r.	『無遠慮夫人』のレジャーヌ	1894	鉛筆・紙	11.5×18.5
2-29v.	女性頭部	1894	鉛筆・紙	11.5×18.5
2-30.	桟敷席のブランデ	1894	リトグラフ	56.0×38.0
2-31.	『はったり屋』のブランデとル・バルジ	1894	リトグラフ	56.0×38.0
2-32.	『はったり屋』のブランデとルロワール	1894	リトグラフ	56.3×38.3
2-33.	桟敷席のレオニー・ヤーヌ	1895	リトグラフ、 オリーブ・グリーンの描画	58.5×42.0
2-34.	『難しい年頃』のヤーヌとマイエール	1895	リトグラフ	58.5×42.0
2-35.	『人間の力を超えて』のリュニェ＝ポーとバディ	1894	リトグラフ	38.0×28.0
2-36.	『前進するパリ』のギーとメリー	1898	リトグラフ	40.0×28.7
2-37.	ポラン（版画集『男優と女優の肖像』）	1898	リトグラフ	39.2×32.0
2-38.	アンナ・ヘルト（版画集『男優と女優の肖像』）	1898	リトグラフ	39.2×32.0
2-39.	クレオ・ド・メロード（版画集『男優と女優の肖像』）	1898	リトグラフ	39.2×32.0
2-40.	マリー＝ルイーズ・マルシー（版画集『男優と女優の肖像』）	1898	リトグラフ	39.2×32.0
2-41.	髪結い（自由劇場のプログラム）	1893	リトグラフ	50.0×32.5
2-42.	『テラコッタの二輪馬車』（制作座のプログラム）	1895	リトグラフ	56.0×38.0
2-43.	制作座のパンフレット	1895	リトグラフ	24.2×36.4
2-44-1.	『無精』（制作座の台本表紙）	1895	リトグラフ	29.8×38.0
2-44-2.	『無精』の台本	1895	書籍（台本）	20.0×15.0×1.5 （閉じた状態）
2-45.	『お金』（自由劇場のプログラム）	1895	リトグラフ	31.9×23.9
2-46.	オスカー・ワイルドとロマン・コーリュス（制作座のプログラム）	1896	リトグラフ	32.5×50.0
2-47.	『ハンセン病の女』のプログラム	1896	リトグラフ	50.3×33.0
2-48.	『抵当』（制作座のプログラム）	1897	リトグラフ	37.5×28.5
2-49.	『無法』のプログラム	1897	書籍（リトグラフによる表紙）	20.0×10.0 （閉じた状態）
資料D.	エルネスト・マンドロン編 『プログラム挿画集』	1897	書籍	32.5×25.5×3.0 （閉じた状態）
2-50.	劇場の出口（刷り見本）	1896	リトグラフ	47.5×35.5
2-51.	展覧会『彼女たち』のためのポスター	1896	リトグラフ	65.0×50.0
2-52-1.	行水をする女（版画集『彼女たち』）	1896	リトグラフ	40.0×52.5
2-52-2.	髪をとかす女（版画集『彼女たち』）	1896	リトグラフ	62.5×44.5
2-52-3.	仰向けの女、疲労（版画集『彼女たち』）	1896	リトグラフ	44.5×62.5
2-53.	放蕩者	1896	リトグラフ	37.8×56.0

■第3章　出版―書籍のための挿絵、雑誌、歌曲集

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
3-1-1a.	歌曲集『昔噺』表紙	1893	リトグラフ	47.0×62.5
3-1-1b.	歌曲集『昔噺』表紙（カラー版）	1893	リトグラフ	44.5×64.0
3-1-2a.	バスーンを演奏するデジレ・ディオー	1893	鉛筆・紙	17.5×10.5
3-1-2b.	「君がため！」のための石版	1893	石版	30.0×24.5×3.5
3-1-2c.	君がため！（歌曲集『昔噺』）	1893	リトグラフ	32.5×25.0
3-1-2d.	君がため！（歌曲集『昔噺』、文字なし）	フルーリー版 1927	リトグラフ	32.5×25.0
3-1-3.	白夜（歌曲集『昔噺』）	1893	リトグラフ	36.0×27.0
3-1-4.	知恵（歌曲集『昔噺』）	1893	リトグラフ	32.5×25.0
3-1-5a.	最後のバラード（歌曲集『昔噺』）	1893	リトグラフ	36.0×27.5
3-1-5b.	最後のバラード（歌曲集『昔噺』、文字用白抜きあり）	1893	リトグラフ	36.0×27.5
3-1-6.	女性研究（歌曲集『昔噺』のためのデザイン、未使用）	1893	リトグラフ	36.0×28.0
3-1-7.	カルノは病気！（歌曲集『昔噺』のためのデザイン、未使用）	1893	リトグラフ	32.5×25.0
3-2.	『デジレ・ディオー歌曲集』　14のオリジナル石版画	1895	リトグラフ	各33.0×25.0
3-2-3.	雨の言うこと			
3-2-10.	海燕			

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
3-2-13.	子守歌			
3-2-14.	老いぼれ蝶々			
3-3.	海燕（『デジレ・ディオー歌曲集』、文字のせ前）	1895	リトグラフ	35.0×27.0
3-4.	可愛い使い走りの娘	1901以降 （オリジナル版1893）	リトグラフ	37.0×29.5
3-5.	グルネル地区の恐怖	1894	リトグラフ	35.0×27.5
3-6.	『レスタンプ・オリジナル』誌表紙	1893	リトグラフ	58.0×69.0
3-7.	40にて（『レスカルムーシュ』誌）	1893	リトグラフ	38.5×28.0
3-8.	ムーラン・ルージュにて、無骨者、本当の無骨者！（『レスカルムーシュ』誌）	1893	リトグラフ	38.0×28.0
3-9.	『フェードル』のサラ・ベルナール（『レスカルムーシュ』誌）	1893	リトグラフ	38.0×28.4
3-10.	『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌のためのポスター	1895	リトグラフ	125.5×91.2
3-11.	アマチュア写真家（『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌付録『ニブ』）	1894	リトグラフ	35.5×25.0
3-12r.	アマチュア写真家（『ニブ』表紙） フーティとショコラ（『ニブ』表紙）	1894	リトグラフ	35.5×25.0 開いた状態：35.5×50.0
3-12v.	アンナ・ヘルト（『ニブ』表紙）	1894	リトグラフ	35.5×25.0 開いた状態：35.5×50.0
3-13.	曲芸師フーティ	1895	鉛筆・紙	14.5×12.5
3-14.	アンナ・ヘルト（『女優大全』）	1894	リトグラフ	35.5×25.0
3-15.	カーニヴァル（『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌）	1894	リトグラフ	38.0×28.1
3-16.	ジャン=ルイ・フォラン（『ル・リール』誌挿絵担当者）の肖像	1894頃	鉛筆・紙	7.0×5.5
3-17.	『リンガー・ロンガー・ルー』を歌うイヴェット・ギルベール（『ル・リール』誌）	1894	リトグラフ	30.8×23.6
3-18-1.	『リンガー・ロンガー・ルー』を歌うイヴェット・ギルベール	1894	ペン、インク・紙	13.0×17.7
3-18-2.	『リンガー・ロンガー・ルー』を歌うイヴェット・ギルベール	1894	ペン、インク・紙	13.3×18.5
3-19.	バーで踊るショコラ（『ル・リール』誌）	1896	リトグラフ	30.8×23.6
3-20.	フランソワーズ・ド・リミニのリハーサルにて、アンブロワーズ・トマ（『ル・リール』誌）	1896	リトグラフ	30.8×23.6
3-21.	ポレール（『ル・リール』誌）	1895	リトグラフ	30.8×23.6
3-22.	スケートをする女（『ル・リール』誌）	1896	リトグラフ	30.8×23.5
3-23.	フォリー・ベルジェールのローナ・バリゾン夫人、そのマネージャーと夫（『ル・リール』誌）	1896	リトグラフ	30.8×23.6
3-24.	小起床の儀（『ル・リール』誌）	1896	リトグラフ	30.8×23.6
3-25.	フォリー・ベルジェールにて、マルコ兄弟（『ル・リール』誌）	1896	リトグラフ	30.8×23.6
3-26.	ムーラン・ルージュにて、シャ・ユ・カオの入場（『ル・リール』誌）	1896	リトグラフ	30.8×23.6
3-27.	『シナイ山の麓で』	1897	リトグラフ	表紙38.0×56.0 各35.5×24.0
3-27-1.	表紙（未使用）			
3-27-2.	物乞いをするモーゼ男爵			
3-27-3.	シュロメ・フュスの逮捕			
3-27-4.	シナゴーグのシュロメ・フュス			
3-27-5.	カールスバードのポーランド系ユダヤ人			
3-27-6.	ポーランド系ユダヤ人の祈り			
3-27-7.	ジョルジュ・クレマンソーと眼科医マイエール			
3-27-8.	クラクフの店の奥			
3-27-9.	クラクフの毛織物市場			
3-27-10.	ブシクのクレマンソー			
3-27-11.	シナゴーグのシュロメ・フュス（未使用）			
3-27-12.	ガリツィアの墓地（未使用）			
3-27-13.	ブシクの墓地（未使用）			
3-28.	ジュール・ルナール著／アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック挿図、『博物誌』	1897	リトグラフ	各32.0×23.5 厚さ2.0
3-28-9.	ハイタカ			
3-28-24.	章末用の装飾図案、ジュール・ルナール（狐）	1896	インク・書籍	3.5×3.5 （書籍：14.0×11.5×1.5）
3-29.	詩集『はかなき喜び』表紙	1897	リトグラフ	27.5×36.5
3-30.	ジャン・ド・ティナン著／アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック表紙『恋するニノン・ド・ランクロの場合』	1898	書籍（リトグラフによる表紙）	18.5×12.5×2.0
3-31.	ポール・ルクレルク著／アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック表紙『パリの玩具』	1901	書籍（リトグラフによる表紙）	20.0×10.0×1.5

■第4章　ポスター

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
4-1.	エルドラド、アリスティド・ブリュアン、彼のキャバレにて	1892	リトグラフ	138.0×96.0
4-2-1.	ジャヌ・アヴリル（文字のせ前）	1893	リトグラフ	124.0×91.5
4-2-2.	ジャヌ・アヴリル（『ポスター傑作集』）	1895	リトグラフ	34.5×27.0
4-3.	ディヴァン・ジャポネ	1893	リトグラフ	80.8×60.8
4-4.	メイ・ベルフォール	1895	リトグラフ	79.5×61.0
4-5.	挨拶するメイ・ベルフォール嬢	1895	リトグラフ	56.5×38.5
4-6.	ナポレオン	1895	リトグラフ	63.0×50.7
4-7.	『ザ・チャップ・ブック』誌	1895	リトグラフ	41.2×61.8
4-8.	スクリブ通りのピクトン・バーにて	1896	リトグラフ	47.0×33.0
4-9-1.	エグランティーヌ嬢一座	1896	リトグラフ	61.7×80.4
4-9-2.	傘を持つ男（《エグランティーヌ嬢一座》のためのルマルク）	1896	リトグラフ	33.0×23.0
4-10.	『処刑台のもとで』	1893	リトグラフ	82.5×59.0
4-11-1.	『ドイツのバビロン』	1893	リトグラフ	120.0×84.5
4-11-2.	ヴィクトール・ジョズ著／アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック表紙『ドイツのバビロン』	1894	書籍（リトグラフによる表紙）	18.0×12.0×2.0
4-12.	首吊り	1895	リトグラフ	80.0×60.3
4-13.	『警鐘』	1898	リトグラフ	53.7×44.8
4-14.	『ラ・ヴァッシュ・アンラジェ（怒れる牝牛）』誌	1896	リトグラフ	79.0×57.5
4-15.	紙吹雪（コンフェッティ）	1894	リトグラフ	82.5×59.0
4-16.	54号室の女性船客（白黒版）	1896	リトグラフ	60.0×40.0
4-17.	アルティザン・モデルヌ（文字のせ前）	1896	リトグラフ	93.0× 65.0
4-18.	コンサートにて	1896	リトグラフ	33.0×25.2

■第5章　私的生活と晩年

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
5-1.	シャルル・モラン アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレックの肖像	1895	リトグラフ	34.0×23.8
書簡Ⅰ.	ロートレックからテオ・ファン・レイセルベルへ宛ての手紙	1892、2月		書簡：20.5×26.5 封筒：9.5×12.0
書簡Ⅱ.	ロートレックから母宛ての手紙	1892、7月		23.5×28.2
書簡Ⅲ.	ロートレックから母宛ての手紙	1893、12月		23.5×28.2
書簡Ⅳ.	ロートレックから母宛ての手紙	1893、12月		23.5×28.2
書簡Ⅴ.	ロートレックからレオン・デシャン宛ての手紙	1895、7月16日		15.0×20.0
5-2.	アドリアン・エブラールのメニュ・カード	1894	リトグラフ	56.0×38.0
5-3.	ブイヤベース、セスコーのメニューカード	1895	リトグラフ	34.8×22.0
5-4.	鰐、モーリス・ギベールのメニューカード	1896	リトグラフ	66.0×48.0
5-5.	ラ・ティージュ、ムーラン・ルージュ	1894	リトグラフ	38.8×27.9
5-6.	章末用の装飾図案、モーリス・ギベール	1894	インク・書籍	2.8×2.5 （書籍：22.0 × 14.0 × 3.0）
5-7.	アレクサンドル・ナタンソンのための招待状	1895	リトグラフ	34.0× 18.0
資料E.	ルイ・アルフレッド・ナタンソン撮影 眠るロートレック	1900頃		
5-8.	新年のあいさつ	1897	リトグラフ	25.0×22.0
5-9.	展覧会の招待状	1898	リトグラフ	26.5×21.3
5-10.	名彫版師、アドルフ・アルベール	1898	リトグラフ	47.5×35.4
5-11.	私の最初の亜鉛版（ドライポイント）、こんにちはロバンさん	1898	ドライポイント	32.0×19.5
5-12.	トリスタン・ベルナール	1898	ドライポイント	31.0×22.0
5-13-1.	探検家	1898	ドライポイント	25.7×19.0
5-13-2.	編集者W.H.B.サンズ	1898	ドライポイント	25.7×19.0
5-13-3.	シャルル・モラン	1898	ドライポイント	25.7×19.0
5-13-4.	ある男の肖像	1898	ドライポイント	25.7×19.0
5-13-5.	フランシス・ジュールダン	1898	ドライポイント	25.7×19.0
5-13-6.	アンリ・ソム	1898	ドライポイント	25.7×19.0
5-14.	ドライポイントによるスケッチ	1898	ドライポイント	15.8×12.1

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
5-15.	ポニーのフィリベール	1898	リトグラフ	56.0×36.0
5-16.	乗馬婦人と軽二輪馬車	1898	リトグラフ	31.9×49.0
5-17.	騎手	1899	リトグラフ	51.8×36.2
5-18.	歩廊	1899	リトグラフ	72.0×57.0
5-19.	カフェ・コンセールのふたり連れ	1899	リトグラフ	31.6×45.4
資料F.	モーリス・ジョワイヤン編 『アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック全作品目録（絵画編）』	1926		26.5×21.0×6.0
資料G.	モーリス・ジョワイヤン編 『アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック全作品目録（素描、版画、ポスター編）』	1927		26.2×20.2×5.5

コレクション展示1

特集展示　草間彌生 魂のおきどころ

■会期
第1期：2024年6月18日（火）～9月8日（日）
第2期：2024年9月10日(火)～12月22日(日)
第3期：2024年12月24日（火）～
2025年3月9日（日）
第4期：2025年3月11日(火)～6月15日(日)
■会場
コレクション展示室A・B・C
■担当学芸員
澁田見 彰

［ごあいさつパネル］

世界規模で活躍を続ける前衛芸術家・草間彌生。その比類ない創作活動をたどる特集展示を、生誕の地・松本で開催いたします。

草間彌生は1929年、松本に生まれます。少女時代は、心の中から湧き上がる幻覚との闘いの日々でした。それらのイメージを小さな紙片に描き留めることが、草間芸術の原点のひとつと言えるでしょう。松本、東京での個展を経て1957年に単身渡米し、ニューヨークを拠点に約16年間活動します。心の内から湧きあがる何かは、いつしか水玉、網目という存在に凝縮されていきます。そして、平面作品、立体作品、パフォーマンスアート、空間芸術、映像作品など様々な形となり、拡がっていきました。1973年に帰国し、拠点を東京へと移した後も精力的に制作を続けています。

今から約60年前、草間は何を感じ、苦しみ、悩み、どのような希望を胸に、故郷を離れたのでしょうか。なぜに草間芸術はこうも高らかに愛と平和を謳いあげることができるのでしょうか。どうしてこれほどまでに世界中の多くの人たちに求められるようになったのでしょうか。

本展示では、松本時代の初期作品から近作の「わが永遠の魂」シリーズへとつながる草間彌生の魂の軌跡を、多様な表現方法による作品をとおしてご紹介いたします。

結びに、本展を開催するにあたり、惜しみない御協力をいただきました草間彌生氏に厚く御礼申しあげます。

《大いなる巨大な南瓜》2017年　©YAYOI KUSAMA

［出品リスト］

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法（cm）	所蔵	展示
1	花の精	1948頃	油彩・キャンバス	37.7 × 45.6	作家	2
2	（無題）	1952	インク、パステル・紙	26.2 × 18.8	作家	2
3	Flower	1952	グワッシュ、パステル・紙	35.0 × 25.0	作家	4
4	集積	1952	油彩・厚紙	40.5 × 30.3	作家	1
5	網	1952/63	グワッシュ、パステル・紙	35.0 × 29.7	作家	4
6	網のある花	1952/63	グワッシュ、パステル・紙	37.5 × 31.5	作家	4
7	（無題）	1953	インク、水彩、パステル・紙	29.7 × 22.2		3
8	女	1953	グワッシュ、パステル・紙	34.5 × 29.0	作家	3
9	花芯	1953	グワッシュ、パステル・紙	34.5 × 32.3	作家	3
10	The Woman	1953/63	グワッシュ、パステル・紙	40.5 × 31.5	作家	1
11	無限の網 B	1965	油彩・キャンバス	131.0 × 127.0	作家	2
12	無限の網 C	1965	油彩・キャンバス	131.0 × 127.0	作家	1
13	闇に埋れる我青春	1975	コラージュ、パステル、インク・紙	54.5 × 39.5		2
14	命の花ひらく	1975	木炭、グワッシュ、コラージュ・紙	39.6 × 54.2		1
15	水に映った蔭	1977	コラージュ、グワッシュ・紙	65.6 × 51.0		4
16	葡萄	1982	アクリル・キャンバス	89.4 × 71.4		3・4
17	月の夜	1985	ミクストメディア	213.0 × 157.0 × 90.0	作家	1・2
18	沼にまよいて	1995	墨、アクリル、パステル、コラージュ・イラストボード	103.0 × 72.5		3
19	鏡の通路	1996	ミクストメディア	―	作家	1・2・3・4
20	ゴッド・ハート	2000	ミクストメディア	98.9 × 100.0 × 10.0	作家	1・2・3・4
21	魂の灯	2008	ミクストメディア	287.4 × 415.0 × 415.0	作家	1・2・3・4
22	果てしない人間の一生	2010	アクリル・キャンバス	194.0 × 194.0		3・4
23	燃え上がる恋の記録	2010	アクリル・キャンバス	194.0 × 194.0		2
24	傷みのシャンデリア	2011	ミクストメディア	高さ 245.0、直径 160.0	作家	1・2・3・4
25	宇宙旅行	2012	アクリル・キャンバス	194.0 × 194.0		1
26	天国への梯子	2012	ミクストメディア	高さ 383.0、直径 150.0		1・2・3・4
27	命	2014	ミクストメディア	15点組：サイズ可変	作家	1・2・3・4
28	大いなる巨大な南瓜	2017	ミクストメディア	高さ 245.0、直径 260.0		1・2・3・4
29	チューリップに愛をこめて	2023	ミクストメディア	高さ 295.0 × W207.0 ×直径 170.0 高さ 235.0 × W181.0 ×直径 170.0 高さ 229.5 × W210.0 ×直径 170.0	作家	1・2・3・4

※展示 1…2024.6.18 ～ 9.8
2…2024.9.10 ～ 12.22
3…2024.12.24 ～ 2025.3.9
4…2025.3.11 ～ 6.15

コレクション展示2

第2期コレクション展示

■会期
2024年7月23日（火）〜10月20日（日）
■会場
上條信山記念展示室、田村一男記念展示室
■担当学芸員
澁田見 彰、原澤 知也、北原 麻椰、藤原 裕希

［趣旨・総括］
　音声ガイドアプリ（ポケット学芸員）導入に合わせ、音声ガイド付きの作品のみで構成した。本コレクション展示以外にも上條信山、田村一男の両資料室、池上百竹亭コレクション展示室でもガイド付き作品を含めた展示とした。

［出品リスト］

■上條信山記念展示室

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	武井真澂	雲海朝陽図	不詳	着色・紙本	各 176.2 × 384.0
2	滝川太郎	瞰望夏景	1927	油彩・キャンバス	61.5 × 116.5
3	臼井文平	婦人像	1928	油彩・キャンバス	91.5 × 71.0
4	木村辰彦	小さな花と犬	1962	油彩・キャンバス	100.1 × 65.5
5	近藤光紀	白壁のある道	1948	油彩・キャンバス	100.4 × 72.6
6	河越虎之進	婦人の朝	1930	油彩・キャンバス	116.5 × 80.5
7	宮坂勝	スケート	1946	油彩・キャンバス	91.0 × 116.7
8	関四郎五郎	鉢伏山	1963	油彩・キャンバス	97.0 × 130.2
9	奥田郁太郎	城の見える町雪景	1959	油彩・キャンバス	91.0 × 116.7
10	横地康國	国生み	1974	油彩・キャンバス	130.3 × 162.1
11	奥村光正	カモフラージュのための講義室	1969	油彩・キャンバス	162.1 × 162.1
12	山崎温	作品 76 - A	1976	油彩・石膏・板	227.4 × 181.8

■田村一男記念展示室

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
13	田中一光	Nihon Buyo［日本舞踊］	1981	オフセット・紙	103.0 × 72.8
14	池田満寿夫	令嬢ジュリー	1983	銅板メゾチント・紙本	36.0 × 30.0
15	田渕俊夫	あずみ野	2002	着色、プラチナ引・紙本	116.7 × 90.9
16	大沼映夫	安曇快晴	2002	油彩・キャンバス	117.0 × 91.0
17	滝沢具幸	連山	2002	着色・紙本	130.3 × 193.9
18	石踊達哉	エスパリエール	2002	着色・紙本	120.0 × 180.0
19	大津英敏	やまびこ	2002	油彩・キャンバス	162.0 × 194.0
20	野田弘志	朝の美ヶ原	2005	油彩・キャンバス	130.0 × 162.0
21	小杉小二郎	風が運んだ回想	2002	油彩・キャンバス	97.0 × 130.3
22	飯沼一道	水田シリーズより 安曇野 2007	2007	油彩・キャンバス	181.0 × 227.0
23	佐々木豊	September of 11th	2002	油彩・キャンバス	162.1 × 130.3
24	根岸芳郎	94-7-8	1994	アクリル・綿布	230.0 × 380.0

コレクション展示３

第４期コレクション展示

■会期
2025年2月4日（火）～5月11日（日）
■会場
上條信山記念展示室、田村一男記念展示室
■担当学芸員
中澤 聡、原澤 知也、北原 麻椰、藤原 裕希

［趣旨・総括］
当館が2023年度に収蔵した作品に加え、当館を代表する収蔵品とともに展示した。

［ごあいさつパネル］
松本市美術館は2002年の開館以来、以下の方針に沿った継続的な作品収集に努めています。

1　郷土出身の作家、松本にゆかりのある作家及び関連する美術資料等
2　松本を中心とした信州の自然、風土、歴史に関する美術資料等
3　山岳等をテーマとした国内外の美術資料等
4　音楽にちなんだ美術資料等
5　その他、市長が必要と認めた美術資料等

美術資料の収集は、公立美術館が担う重要な役割のひとつであるとともに、貴重な文化を後世に伝えることでもあります。

今回のコレクション展示では、2023年度に新たに収蔵した作品を当館を代表する所蔵作品とともにご紹介します。
新収蔵としてお披露目するのは、「パルコ de 美術館」※の出品作家である矢島史織の日本画、中島明希の立体作品をはじめ、70歳以上の公募による美術展「第９回老いるほど若くなる」グランプリ受賞作品や、松本の美術史を探るうえで貴重な作品の数々となります。
ますます充実する松本市美術館ならではのコレクションをお楽しみください。

※「パルコde美術館」
2021年度、改修工事等に伴う当館の休館中に、松本パルコで開催した展覧会。6階フロアを借り切る形で新たに展示会場を設け、絵画・彫刻・写真・インスタレーション等といった多様なジャンルから、40代の現存作家を中心に、松本平にゆかりの深い作家12人を選出し紹介した。

［出品リスト］

■上條信山記念展示室

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	郷原古統	奈良井川の朝	1954	着色・絹本	50.9 × 71.9
2	上條義守	闘鶏の図	1920	着色・絹本	108.5 × 236.2
3	西郷孤月	夜桜之図	1906 頃	着色墨画淡彩・絹本	129.0 × 41.2
4	西郷孤月	池汀白鷺	1900 年代中頃	着色・絹本	114.7 × 50.0
5	石井柏亭	（風景）	不詳	水彩・紙	16.8 × 24.3
6	高島仁	五月の蓮池	1961	水彩・紙	55.9 × 75.0
7	等々力巳吉	列車の通る風景	1927	油彩・キャンバス	60.6 × 72.7
8	大貫悌二	春の水ー高瀬川にて	1941	油彩・キャンバス	73.0 × 90.0
9	小室孝雄	腕ずもう	1924	油彩・キャンバス	92.8 × 116.7
10	林倭衛	婦人座像	1922 頃	油彩・キャンバス	100.0 × 80.3
11	宮坂勝	立てる裸婦	不詳	油彩・キャンバス	90.6 × 72.2
12	滝川太郎	バンド（上海）	1929	油彩・キャンバス	63.7 × 89.5
13	小林邦	早春浅間山	1979	油彩・キャンバス	91.3 × 106.8
14	関四郎五郎	アルプスの空	1968	油彩・キャンバス	130.2 × 160.9
15	上原正三	赤い鳥の居る風景	1966	油彩・キャンバス	90.9 × 116.7

■田村一男記念展示室

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
16	中嶋明希	うねる	2017	鉄	63.0 × 80.0 × 15.0
17	中嶋明希	あしをのばす	2016	鉄	85.0 × 95.0 × 15.5
18	中嶋明希	あるきだす	2017	鉄	113.0 × 30.0 × 30.0 93.5 × 24.0 × 27.0 83.5 × 26.5 × 30.0 59.5 × 23.0 × 21.5 43.5 × 26.0 × 30.0
19	島田章三	秋想（まつもとのひと）	2002	油彩・キャンバス	162.1 × 130.3
20	松本陽子	エフライムの山地Ⅱ	1990	アクリル・キャンバス	200.0 × 230.0
21	矢島史織	Monster #16	2019	彩色（雲肌麻紙、膠、墨、岩絵具）・紙本	162.1 × 193.9
22	矢島史織	Wavelength	2021	彩色（雲肌麻紙、膠、墨、岩絵具）・紙本	130.3 × 193.9
23	矢島史織	光の中の永遠	2021	彩色（雲肌麻紙、膠、墨、岩絵具）・紙本	180.0 × 360.0
24	金山桂子	除虫菊咲く瀬戸内	1961	油彩・キャンバス	97.0 × 145.5
25	金山桂子	刻・ガラス器	1996	油彩・キャンバス	162.0 × 112.0
26	田村一男	たてしな山	1996	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4

上條信山記念展示室

■各展示の概要

1「作家の息づかい」

●会期／ 2024年4月23日（火）～ 7月21日（日）

書作品制作時の呼吸やリズムの大切さは、スポーツや音楽にも通じる。上條信山は生前に「作品にはニコリとするところがなくちゃだめだよ。」と話していた。勢いに任せた力強さだけではない、線質や墨色、余白の響きなどの書表現から生まれる包容力（雄大さ、優しさ…）や遊び心が感じられる作品ということか。書作品から作家の息づかいや人となりを感じられるような作品をピックアップした。

3「墨の魔術」「昭和の書②」

●会期／ 2024年10月22日（火）～
2025年2月2日（日）

「墨色」と「滲み」をテーマに師弟二代の作品を展示した。師・宮島詠士は、宿墨（磨ってから時間が経過し墨が凝縮したもの）の滲みによる無為自然な作。一方、上條信山は、油煙墨や松煙墨の濃淡を模索し、墨の味わいを引き出したバラエティーに富んだ数々。師弟が織りなす墨の彩りが楽しい内容となった。

併せて、秋山白巖（1865-1954、上條信山が少年時代に弟子入りした師）の米寿を祝い贈られた作品（当時の書壇を代表する巨匠や気鋭の書家ら約70作家が会派を超えて贈ったもの）の中から、墨色に特徴がある7作家7作品（赤羽雲庭、安東聖空、宇野雪村、鈴木翠軒、鈴木梅溪、中村素堂、梅舒適）を展示。昭和の書を牽引した作家たちの多様な墨の表情を紹介した。

※2・4期は資料室展示のみ

■担当学芸員

大島 武、原澤 知也

［趣旨・総括］

いつ、誰からともなく「信山バリ」と呼ばれたその書風は、ある時は爽やかな風を見るものに感じさせ、またある時は躍動する墨で魂をゆさぶる。そこに一貫してみてとれるのは、まっすぐな潔さ〈直〉と心（しん）にある力強さ〈骨〉であり、書家・上條信山（1907 - 97）の生きざまそのものである。

上條信山（本名・周一）は、長野県東筑摩郡神林村（現松本市神林）に生まれた。貧しい農家にあって、「百姓の伜（せがれ）は百姓をやればいいんだ」と言った厳父も、周一少年の書道に対する素質には一目おいており、秋山白巖（あきやまはくがん）への内弟子ならばよいと認めた。やがて、白巖からの薦めで松本教育実業学校へ進学し、小学校教員である訓導の仮免許状を取得、更に持ち前の向学心で、当時では親の援助を得ずに進学できる唯一の手段であった師範学校（旧長野師範学校、現信州大学）へと進む。在学時は、長野師範野球部のエースとして、また書では比田井天来（ひだいてんらい）に認められるなど、その才能を開花した。「信山」の号は、この時、「信州に聳（そび）ゆる山」の意から天来より授かったものである。その後、本格的に書と漢学を志し上京。比田井天来や田代秋鶴（たしろしゅうかく）と交わり書学につとめながら、漢学を大東文化学院（現大東文化大学）で修めた。

1935年、当時奉職していた成蹊学園の父兄筋を辿り、かねてからの憧れであり、人生最大の影響者となる宮島詠士（みやじまえいし）への師事が叶う。それから詠士が他界する1943年まで、師の教えを貫いて九成宮醴泉銘（きゅうせいきゅうれいせんめい）（唐・欧陽詢（おうようじゅん））と張猛龍碑（ちょうもうりょうひ）（北魏）の臨書につとめ、後の信山書風を切り拓く基礎を体得する。以後も意欲的に各書体に挑み、肉厚な顔法（がんぽう）（唐・顔真卿（がんしんけい）の書法）を取り入れて独自の書風を築いた。

書の制作活動のほか、毛筆教育の復活と発展への運動、海外での書の普及、日中友好親善活動が特筆される。戦後、学校から毛筆教育が廃止された時、教育課程審議会委員として基礎理論の体系を構築し復活へと導き、その後も書教育の発展のために全国巡回講演を行うなど尽力した。幾度も足を運んだ海外では、当地の芸術家と書の芸術性についてディスカッションをし、デモンストレーションを行うなど、書の国際性を広くアピールした。中国においては、自身の師・宮島詠士と、その師、中国清代の張廉卿（ちょうれんけい）の国境を越えた師弟愛の顕彰活動を通じて、日中の友好に心を注いだ。

1989年12月、「作品を末永く保存し、今後の書教育および芸術教育に役立ててほしい」と願った氏は、生涯にわたる代表作と自ら蒐集した先師・張廉卿、宮島詠士作品を長野市の信濃教育会へ寄贈した。それが1995年12月に一括して松本市へ移管され、さらに逝去の翌年1998年3月に、自宅で保管されていた作品・習作が遺族より寄贈された。

［出品リスト］

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	形態	寸法（㎝）	主要展覧会	展示
1	上條信山	一怒一老	1987	紙本墨書	額	53.2 × 154.0		1
2	上條信山	不息	1994	紙本墨書	額	69.5 × 136.8		1
3	上條信山	将飛	1983	紙本墨書	額	135.0 × 68.0	松本個展	1
4	上條信山	大和	1984	紙本墨書	額	69.0 × 140.0	第 28 回現代書道二十人展	1
5	上條信山	山川終不老	1977	紙本墨書	額	140.0 × 34.5	謙慎同人展	1
6	上條信山	印々泥	1980	紙本墨書	額	90.6 × 165.5	第 24 回現代書道二十人展	1
7	上條信山	画沙	1980	紙本墨書	額	88.8 × 176.0	第 24 回現代書道二十人展	1
8	上條信山	技入神	1971	紙本墨書	額	115.0 × 66.5	第 15 回現代書道二十人展	1
9	上條信山	一以	不詳	紙本墨書	額	83.3 × 153.8		1
10	上條信山	氷心玉壷	1988	紙本墨書	額	69.4 × 247.3	第 50 回謙慎書道会展	1
11	上條信山	天空	1989	紙本墨書	額	63.2 × 135.2	改組第 21 回日展	1
12	上條信山	芭蕉句	1983	紙本墨書	額	137.0 × 22.6	第 27 回現代書道二十人展	1
13	上條信山	白楽天詩「琵琶行」	1983	紙本墨書	軸（双幅）	各 189.2 × 68.4	松本個展	1
14	上條信山	蓬生麻中　不扶而直	1981	紙本墨書	軸（双幅）	各 234.8 × 67.6	第 43 回謙慎書道会展	1
15	上條信山	張若虚詩「春江花月夜」	1977	紙本墨書	軸（双幅）	各 235.5 × 69.4	第 39 回謙慎書道会展	1
16	上條信山	地霊	不詳	紙本墨書	額	65.4 × 133.9		1
17	上條信山	松下遺風不言傳	不詳	紙本墨書	軸	129.2 × 51.7		1
18	上條信山	敬	不詳	紙本墨書	額	67.9 × 67.8		2
19	上條信山	至誠	不詳	紙本墨書	額	140.5 × 69.0		2
20	上條信山	李白詩「望天門山」	不詳	紙本墨書	軸	79.5 × 19.3		2
21	上條信山	素性法師のうた	不詳	彩箋墨書	軸	136.5 × 34.3		2
22	上條信山	壮心	1987	紙本墨書	額	81.8 × 153.2	改組第 19 回日展	2
23	上條信山	崔顥詩「黄鶴楼」	不詳	紙本墨書	額	66.6 × 30.0		3
24	上條信山	題華賦草	1968	紙本墨書	額	34.5 × 137.0	還暦個展	3
25	上條信山	玄風	1989	紙本墨書	額	69.3 × 136.0	第 6 回読売書法展	3
26	上條信山	玄塵	不詳	紙本墨書	額	69.2 × 56.4		3
27	上條信山	杜甫詩「春日憶李白」	1989	紙本墨書	額	58.0 × 60.0		3
28	上條信山	法天	1980	紙本墨書	額	87.0 × 161.5	第 32 回毎日書道展	3
29	上條信山	墨魔	1982	紙本墨書	額	90.0 × 161.8	第 34 回毎日書道展	3
30	上條信山	陸游詩「楼上酔歌」	1980	紙本墨書	額	65.8 × 65.8		3
31	上條信山	累石	不詳	紙本墨書	額	69.4 × 136.5		3
32	宮島詠士	張廉卿詩	不詳	紙本墨書	額	32.7 × 111.1		3
33	宮島詠士	良匠獨苦心	不詳	紙本墨書	額	33.2 × 131.0		3
34	宮島詠士	臨 蘭亭叙	不詳	紙本墨書	額	34.9 × 126.0		3
35	宮島詠士	天高氣清	不詳	紙本墨書	額	34.0 × 123.7		3
36	上條信山	松月	不詳	紙本墨書	額	34.0 × 67.7		3
37	上條信山	幽玄	1992	紙本墨書	額	124.8 × 69.6		3
38	上條信山	地花人愛	1986	紙本墨書	軸	68.0 × 63.8	巨匠展	3
39	赤羽雲庭	王維詩「過香積寺」	1952	紙本墨書	軸	133.9 × 32.7		3
40	安東聖空	曾禰好忠のうた	1952	紙本墨書	軸	136.0 × 33.7		3
41	宇野雪村	四壁図書	1952	紙本墨書	軸	48.8 × 70.4		3
42	鈴木翠軒	寿伝万歳有緑	1952	紙本墨書	軸	136.0 × 33.7		3
43	鈴木梅溪	伊勢のうた	1952	紙本墨書	軸	135.4 × 33.6		3
44	中村素堂	七言二句	1952	紙本墨書	軸	136.2 × 33.7		3
45	梅舒適	陶淵明詩「時運」四章之一	1952	紙本墨書	軸	136.0 × 33.6		3
46	上條信山	正岡子規の句	1986	紙本墨書	額	45.4 × 68.8		4
47	上條信山	玄黒	不詳	紙本墨書	額	68.2 × 69.8		4
48	上條信山	四時清風来	不詳	紙本墨書	軸	134.7 × 34.5		4
49	上條信山	陸游詩「対酒」	不詳	紙本墨書	軸	135.0 × 34.4		4
50	上條信山	飛雲	1981	紙本墨書	額	135.0 × 70.0	第 25 回現代書道二十人展	4
51	上條信山	守敬	不詳	紙本墨書	額	71.2 × 34.5		4

※展示1…2024.4.23～7.21
2…2024.7.23～10.20
3…2024.10.22～2025.2.2
4…2025.2.4～5.11

田村一男記念展示室

■各展示の概要

1「田村一男作品セレクション」

●会期／ 2024年4月23日（火）～ 7月21日（日）

田村一男が好んで描いた日本の冬の風景に加え、春の到来を告げる大地や初夏の高原といった展示期間に合わせた作品を紹介した。

3「生誕120年　田村一男作品セレクション」

●会期／ 2024年10月22日（火）～ 2025年2月2日（日）

ヨーロッパ滞在時の作品、亡き長男を偲んだ《陽月》、侘しくも温かな日本の秋から冬にかけての山や高原の風景。生誕120年を記念し、当館が所蔵する田村一男コレクションの中でも特に代表的な作品を紹介した。

※2・4期は資料室展示のみ

■担当学芸員

中澤 聡、澁田見 彰

［趣旨・総括］

日本の暗い色の大地を好み、穏やかな山容を描き続けた洋画家・田村一男（1904-97）。冬の野山に身を置き、その寂しく厳しい空気を感じながらそれを画面に描きとめることに自らの画業を見いだしていたが、田村の描く冬景色は凍てつく寒さよりもすべてを包容する温かさに満ちている。それは、田村自身の心根を静かに映し出しているように感じるのである。

田村一男は1904年に現在の東京都中野区に生まれた。生活は裕福とは言えず、13歳のときには給仕として働き始めていた。16歳のとき新聞社に転職し、その新聞社のならびにあった磯谷洋風額縁店に出入りする画家たちの人柄に惹かれるようになった。20歳のとき、この額縁店に住み込みで入店し、一方で岡田三郎助の主宰する本郷洋画研究所に入所。昼間は額縁制作に従事し、仕事が終わってから夜間生として絵の勉強に励んでいた。そのころ、同じ研究所仲間の彫刻家・矢崎虎夫に誘われて彼の故郷である長野県蓼科を訪れた。貧しく旅行などしたことのなかった田村は初めて見る広大な高原に感銘を受け、以後、おもな画題を高原・山に求めることとなった。

50歳のとき、機会を得てヨーロッパに渡り10ヶ月間滞在した。その間に描いた作品は油彩120枚、スケッチ600枚を数え、また現地に滞在する日本人画家たちとも交流するなど、精力的に活動した。しかし、一方でこの旅は田村に「自分が描く題材は日本の風景にある」と結論づけた。田村が好んで使う海景用のキャンバスには自身の目線で描いた日本の山々の塊がゆったりと広がる。

生前、田村が「自分の作品を信州のどこかに寄贈したい」との考えから松本市が美術館への記念展示室設置へと動き、やがて200点あまりの作品が松本市に寄贈され、美術館の開館と同時に記念展示室がオープンした。田村は自身の記念展示室オープンを見ることなく92歳の生涯を閉じた。今年度から記念展示室では、1年に2回の展示で、所蔵する田村作品から田村の作品制作が通覧できるようセレクトし、展示をしている。

［出品リスト］

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	展示
1	海	1936	油彩・キャンバス	33.0 × 46.0	1
2	湿地帯	1951	油彩・キャンバス	72.7 × 116.7	1
3	南仏風景	1954	油彩・キャンバス	91.0 × 60.6	1
4	春容	1960	油彩・キャンバス	97.0 × 145.5	1
5	六月の丘	1964	油彩・キャンバス	72.7 × 116.7	1
6	梔子	1971	油彩・キャンバス	41.0 × 31.8	1
7	羽後長野	1976	油彩・キャンバス	53.0 × 72.7	1
8	残雪の丘	1977	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
9	黄金の雷光	1978	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
10	早春（車山）	1979	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
11	草原	1980	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
12	比良早春	1981	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
13	到春	1984	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
14	早春蓼科山	1986	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
15	くもるおか	1988	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
16	ほくしん	1988	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
17	高原	1989	油彩・キャンバス	130.3 × 194.0	1
18	清春四月	1990	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
19	清春四月	1992	油彩・キャンバス	38.0 × 45.5	1
20	ばら	1993	油彩・キャンバス	53.0 × 41.0	1
21	初夏高原	1994	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
22	シャルトル寺	1955	油彩・キャンバス	91.0 × 65.2	2
23	グラナダの丘	1956	油彩・キャンバス	116.7 × 72.7	2
24	御射山高原	1964	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	2
25	雪国	1975	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	2
26	蓼科山	1952	油彩・キャンバス	72.7 × 60.6	3
27	桜島雪	1953	油彩・キャンバス	100.0 × 65.2	3
28	冬丘	1954	油彩・キャンバス	91.0 × 60.6	3
29	グラナダの丘	1956	油彩・キャンバス	116.7 × 72.7	3
30	春容	1960	油彩・キャンバス	97.0 × 145.5	3
31	八島湿原	1967	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
32	薩南雪天	1970	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
33	陽月	1971	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
34	白月	1974	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
35	明けゆく立山への道	1975	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
36	白の高原	1975	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
37	白の世界の肖像	1977	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
38	雪後	1978	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
39	白いやまなみ	1980	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
40	戸隠くるる	1981	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
41	ゆきのくに	1985	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
42	北信濃	1984	油彩・キャンバス	162.0 × 97.0	3
43	五竜	1990	油彩・キャンバス	130.3 × 194.0	3
44	冬丘・御射山高原	1992	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
45	たてしな山	1996	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	4
46	湯沢（くにさかい）	1940	油彩・キャンバス	60.6 × 72.7	4
47	蓼科高原	1952	油彩・キャンバス	53.0 × 72.7	4
48	春をまつ高原	1966	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	4
49	北信濃	1984	油彩・キャンバス	162.0 × 97.0	4

※展示1…2024.4.23～7.21
2…2024.7.23～10.20
3…2024.10.22～2025.2.2
4…2025.2.4～5.11

池上百竹亭コレクション

■各展示の概要

1「小川千甕(おがわせんよう)」

●会期／ 2024年4月23日(火)～ 7月21日(日)

小川千甕（1882-1971）は、仏画師・洋画家・日本画家・漫画家として、明治末期から昭和期に活躍し、また雑誌『ホトトギス』、『太陽』などに挿絵、漫画を発表して人気を博した。旅を愛した千甕は、福島をはじめとした各地を巡り、その自然や風俗に共感を寄せて作品を残した。松本へも度々訪れており、池上喜作と深い親交を結び、コレクションには池上からの依頼を受けて制作された作品なども収められている。千甕の描く、枠にとらわれない自由自在でユーモアに溢れる作品をご覧いただいた。

2 絵画作品

●会期／ 2024年7月23日(火) ～ 10月20日(日)

池上喜作が絵画の蒐集を始めたきっかけは、日本画家・平福百穂（1877-1933）の作品と出会ったことであった。短歌雑誌『アララギ』の資金援助のために百穂が制作頒布したうちの一点《水辺楊柳図》を入手した池上は、その絵を大変気に入り、百穂の力作を手に入れたいと思うようになる。以降、絵画作品にも蒐集の範囲を広げていった。本展示では、百穂のほかに、松本に関わりの深い作家である武井真澂（1875-1957）と石井柏亭（1882-1957）の作品を紹介した。

3「香取秀真(かとりほつま)」

●会期／ 2024年10月22日(火) ～ 2025年2月2日(日)

企画展「金工の巨匠　香取秀真展」に合わせ、秀真のほか複数名の作家による作品が池上喜作の取り合わせにより仕立てられた作品を紹介した。香取秀真（1874-1954）は、近代工芸史に大きな足跡を残した金工作家。東京で活躍しながらも、現在の長野県塩尻市出身であった妻の縁で松本へ訪れる機会が多く、1944年から約3年間は松本市郊外に疎開していた。秀真は、正岡子規門下のアララギ派の歌人としても知られており、子規に傾倒していた池上との出会いは自然の流れであったのだろう。二人は深い交流を持ち、コレクションには秀真の作品が多く収められている。

4「伊藤左千夫(さちお)」

●会期／ 2025年2月4日(火) ～ 5月11日(日)

伊藤左千夫（1864-1913）は、千葉県生まれの歌人、小説家。新聞『日本』に発表された正岡子規の「歌よみに与うる書」に大きな感銘を受け、1900年から子規に師事した。子規の没後は根岸短歌会の中心的な歌人となり、雑誌『馬酔木(あしび)』、次いで『アララギ』を創刊。また、子規の写生文の影響を受けた小説『野菊の墓』（1906年）などを発表した。本展示では、伊藤左千夫の作品や葉書を紹介した。池上喜作の親友であった胡桃沢勘内（1885-1940）が伊藤に師事していたことから、胡桃沢を介して作品の蒐集が成されたと思われる。

■担当学芸員

稲村 純子、北原 麻椰

［趣旨・総括］

「池上百竹亭コレクション」とは、松本市の文人・池上喜作／号・百竹亭（1890-1978）が生涯にわたって蒐集した近代文芸関係を中心とする221点の資料の総称である。池上の没後、遺族によって松本市に寄贈された。

池上喜作は、市内有数の富裕な商家、重要美術品指定の古筆手鑑『兎玉集』や、法隆寺百万塔などを保有するような文化を尊ぶ気風のある家、環境に生まれ育った。弟には、東京大学教授で「池上哲学」を構築したといわれる池上鎌三（1900-56）と、東京大学を卒業し、国会議員等の公職を歴任した池上隆祐（1906-86）がいる。

早いうちから俳句短歌を知り正岡子規の俳句・短歌革新運動に心惹かれる。当時の松本は子規庵句会で活躍した矢ヶ崎奇峰、同じく子規の門下である上原三川らが『はゝき木』を刊行し、長野県における俳句革新の拠点となっていた時代であった。家業を継いだ池上であるが、子規文学への深い関心は断ちがたく、俳壇への投稿などは続けていた。そして子規の模写した「藤娘」の絵と題詠を入手したことをきっかけに本格的な文芸資料の蒐集が始まり、子規文学と交渉をもつ美術家との文通交際を深めていくにつれ、筆跡作品及び美術工芸品等が集まってコレクションが形成されていった。また民藝運動との出会いにより、さらに蒐集の範囲も広がることとなった。

美術館が収蔵している池上百竹亭コレクションは、「文芸資料」「絵画」「工芸」とに分類できる。中核をなすものは、池上が少年期よりあこがれを抱いていた正岡子規とその門人に関連する俳句・短歌の資料である。短冊や色紙、扇面などを掛軸あるいは屏風に、また、絵を織りまぜて美しい画帖に仕立てている。子規の他、高濱虚子・河東碧梧桐・内藤鳴雪・岡麓・香取秀真・伊藤左千夫・斎藤茂吉・島木赤彦・土屋文明ら、地元では、矢ヶ崎奇峰・上原三川・胡桃沢勘内らの作品資料である。

「絵画」では、池上の絵の蒐集のきっかけとなった平福百穂をはじめ、下村為山・中村不折・小川芋銭・香取秀真・武井真澂・森田恒友・小川千甕・石井柏亭・武者小路実篤・太田南海・橋浦泰雄・棟方志功・バーナードリーチらの作品が収められている。

「工芸」では、邸内に茶室を設け、そこで客をもてなす時に用いた茶道具などや、民藝運動に関わる作家の作品などがある。

これらはいわゆる「素封家の金に飽かせた蒐集」ではなく、大正～昭和期、池上が交友していた多くの文人との、温もりを感じさせるような作品資料である。それぞれには独特の拵えや仕立てが施されており、また池上の編集によって再生産されたような作品もあり、思い入れの深さがうかがわれる。

池上百竹亭コレクション展示室において、コレクションの中から10点余りをセレクトし、年に数回展示替えを行いながら公開している。

［出品リスト］

No.	作家名	作品名	技法・材質	寸法（cm）	展示
1	小川千甕	西洋風俗新大津絵「ダンスの女」	紙・木版、着色	63.6 × 30.0	1
2	小川千甕	西洋風俗新大津絵「南伊太利の飾り馬」	紙・木版、着色	63.6 × 30.0	1
3	小川千甕	西洋風俗新大津絵「ペンキ職人（巴里所見）」	紙・木版、着色	63.6 × 30.0	1
4	小川千甕	益軒自作像画	紙本墨書、墨画着色	134.2 × 33.6	1
5	小川千甕	不尽能高嶺	紙本着色	136.3 × 34.7	1
6	小川千甕	田稼秋景	紙本墨書、着色	47.5 × 54.3	1
7	小川千甕	苦楽一如	紙本墨書	66.0 × 39.2	1
8	小川千甕	楽寿帖　寿帖　寿双帖	紙本墨書、墨画着色	21.2 × 18.3	1
9	小川千甕	楽寿帖　五楽帖　蘿月帖	紙本墨書、墨画着色	21.2 × 18.3	1
10	小川千甕	楽寿帖　寿帖　明治百年帖	紙本墨書、墨画着色	21.2 × 18.3	1
11		平福百穂、小川千甕集		29.6 × 24.5 × 4.3	1
12	武井真澂	水墨画	紙本墨画墨書	135.8 × 34.8	2
13	武井真澂	彩色画	絹本着色	120.0 × 45.8	2
14	平福百穂	水辺楊柳図	紙本墨画着色	30.9 × 101.7	2
15	平福百穂	松籟泉声	紙本着色	159.5 × 74.9	2
16	石井柏亭	深志城跡	紙本着色	121.8 × 34.7	2
17	石井柏亭	楽寿帖　五楽帖　春去冬来	紙本墨書、墨画着色	21.2 × 18.3	2
18	石井柏亭	楽寿帖　五楽帖　去年今年帖	紙本墨書、墨画着色	21.2 × 18.3	2
19	武者小路実篤	楽寿帖　五楽帖　竹仙帖	紙本墨書、墨画着色	21.2 × 18.3	2
20		平福百穂、小川千甕集		29.6 × 24.5 × 4.3	2
21	正岡子規	「菜の花」図	紙本着色	45.3 × 28.7	3
22		「耕して～」句（池上百竹亭）、「信濃路に～」歌（香取秀真）、「菜の花～」句（荻原井泉水）、菜の花絵の添幅（香取秀真）	紙本墨書、墨画着色	134.0 × 38.8	3
23	香取秀真、他	短冊貼り混ぜ屏風	紙本墨書、墨画着色	各 136.3 × 261.6	3
24	香取秀真	墨竹手簡集	紙本墨書、墨画	23.0 × 836.5	3
25	香取秀真、他	草庵歌俳帖	紙本墨書	41.9 × 16.5	3
26		香取秀真集		29.7 × 24.5 × 4.7	3
27	伊藤左千夫	「三穂に渡る～」句短冊	紙本墨書	35.7 × 5.8	4
28	伊藤左千夫	「夏されば～」歌扇面	紙本墨書	23.0 × 52.5	4
29	伊藤左千夫	「宇津曾味乃～」歌色紙	紙本墨書	20.8 × 17.8	4
30	伊藤左千夫	「あたたかき～」歌	紙本墨書	32.0 × 61.0	4
31		左千夫宛葉書（正岡子規）、画（中村不折）	絹本墨書、墨画着色	117.8 × 27.0	4
32		左千夫宛書簡（正岡子規）、「草の戸に～」句（高濱虚子）	紙本墨書	114.7 × 15.8	4
33	伊藤左千夫	絵葉書（岡三郎宛）		14.1 × 9.0	4
34	伊藤左千夫	絵葉書（上原良三郎宛）		13.9 × 8.9	4
35	伊藤左千夫	絵葉書（赤木格堂宛）		14.2 × 9.1	4
36	伊藤左千夫	野菊の墓　表紙		18.9 × 12.6	4
37		子規、左千夫、節と松本平		29.8 × 24.8 × 3.3	4

※展示1…2024.4.23～7.21
2…2024.7.23～10.20
3…2024.10.22～2025.2.2
4…2025.2.4～5.11

コレクション特設展示

■会期
通年
■会場
オープンギャラリー
■担当学芸員
稲村 純子

［趣旨・総括］

細川宗英（1930-94）は、長野県松本市に生まれ、諏訪市で育った。東京藝術大学美術学部彫刻科専攻科在学中から新制作協会展に出品し、その才能は早くから注目される。1950年代から60年代初頭、日本へ流入する欧米現代美術の影響を受けつつも、やがて日本的なものへ回帰するイメージから生まれた「装飾古墳シリーズ」を制作し、第8回高村光太郎賞を受賞。1968年、文化庁芸術家在外研修員として海外派遣となった際にメキシコのマヤ文明に触れ、自らが目指す彫刻の本質を確信する。帰国後、人間の内面を赤裸々にえぐり出す「男と女」「王と王妃」のシリーズ、鎌倉室町の頂相（ちんぞう）彫刻から想を得た「道元」、平安末期から鎌倉初期の絵巻『地獄草紙』『餓鬼草紙』による物語絵画を彫刻化したシリーズなどを発表。風化しゆく人やモノの姿をとおし、時間や歴史を超越して存在するもの、内に向かって削ぎ落としていくような造形を探求し、63歳で他界した。生きた証を残しおこうとする人間の執念、永遠なるものへの祈り…。細川が彫刻に込めたむき出しの美は、生あるものが消滅しゆく運命との“たたかい”でもあった。

飯沼英樹（1975-）は、松本市生まれ。東京、名古屋で彫刻を学び、2002年、フランスへ留学、その後、ドイツ、イタリア、スイスなどで個展を開催。日本よりも先にヨーロッパでその実力が認められた。松本市美術館では2016年に「飯沼英樹　闘ウ女神タチ」と題した企画展を開催している。飯沼が刻むのは、煌びやかな衣装を身に纏い、最先端のメイクで武装したモデルなど、現在を生きる女性の姿。飯沼はファッション誌の一枚の写真からインスピレーションを得て、被写体の内面まで彫りあげている。他者の視線を強く意識し、なお自らを奮い立たせる女性。垣間見えるのは強かさと葛藤、さらに先にある気高さで、飯沼が表現しようとしているのは、その刹那の神性であろうか。

オープンギャラリーはフリースペースであるため、多くの来館者に気軽に両彫刻家の代表作をご覧いただくことができた。

［出品リスト］

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
1	細川宗英	王妃像 №.1	1984	ブロンズ・着色	210.0 × 65.0 × 50.0	
2	細川宗英	道元	1972	ブロンズ、義眼	180.0 × 55.0 × 55.0	
3	細川宗英	男と女の顔	1974	ブロンズ	53.0 × 46.0 × 29.0	
4	細川宗英	灰痕の男	1976	ポリエステル・着色	125.0 × 50.0 × 40.0	
5	細川宗英	腰かける男のトルソ	1971	ブロンズ	63.0 × 30.0 × 32.0	
6	飯沼英樹	Flamboyance Vanity	2011	木（ヒノキ）・着色	130.0 × 180.0 × 70.0	寄託作品

3　資料

3-1　収蔵作品一覧
3-2　資料の保存・修復
3-3　貸出作品

収蔵作品一覧

松本市美術館収蔵美術作品一覧表

区　分	日本画	日本画以外の絵画	版　画	彫刻・立体	工　芸	書	草間彌生作品	上條信山作品	田村一男作品	池上百竹亭コレクション	合　計
松本市立博物館からの移管作品	215	272	1	7	4	3	1				503
2001（平成13）年度以前	22	47	1	7	1		285	316	217	221	1,117
2002（平成14）年度	9	52	23	1			18				103
2003（平成15）年度		23					24	1	178		226
2004（平成16）年度	1	40		5		5					51
2005（平成17）年度	3	24	1	1	1		6				36
2006（平成18）年度	8	3									11
2007（平成19）年度	3	13						7			23
2008（平成20）年度		9		2				47			58
2009（平成21）年度	10	31	2	2			1				46
2010（平成22）年度	2	15	1								18
2011（平成23）年度	1	33	1	3	2	1	9	1			51
2012（平成24）年度	3	19				1	4	2			29
2013（平成25）年度	2	11	2								15
2014（平成26）年度	2	45	3		1	33		2			86
2015（平成27）年度		5				2	9				16
2016（平成28）年度	1			4				1			6
2017（平成29）年度	2	2				73		9			86
2018（平成30）年度							52				52
2019（令和元）年度	3	4				3					10
2020（令和2）年度	3	1			5						9
2021（令和3）年度											0
2022（令和4）年度	1	5		6		2					14
2023（令和5）年度	4	3		3							10
2024（令和6）年度											0
合　計	295	657	35	41	14	123	409	386	395	221	2,576

※この他に、石井鶴三資料（20,612点）がある。

凡例

1. 2025年3月31日現在。
2. 区分は、日本画、日本画以外の絵画、版画、彫刻・立体、工芸、書の6部門とし、草間彌生・上條信山・田村一男作品・池上百竹亭コレクションは別掲した。
3. 日本画以外の絵画の区分には、油彩、水彩、デッサン、ミクストメディア等を含む。
4. 松本市立博物館からの移管作品数には、二次資料29点を含めない。（総移管数は532点）
5. 上條信山作品については、宮島詠士、張廉卿の作品を含む。

資料の保存・修復

1　保存環境の整備

カビや虫の被害を防止するために、収蔵庫内の掃除や搬入される作品の簡易なクリーニング、虫や埃を外部から収蔵庫・一時保管庫内に入れないための対策を引き続き行った。

2　館内環境調査

捕虫用トラップを館内各所約180カ所に仕掛け、初夏と秋の2回2週間ずつ観察した。浮遊塵埃・浮遊菌の調査も秋に行った。昆虫類の侵入が想定される出入口等には、引き続き侵入阻止対策を行った。

3　修復・額装など

展示・保管のため、下記の作品の修復及び額装を行った。

修復（8点）

No.	作家名	作品名	技法・材質	概要
1	香取秀真	百竹亭	紙本墨書	洗浄、裏打ち、新規表装、保存箱制作
2	香取秀真	鰐口拓本	紙本拓本	洗浄、裏打ち、中廻新調、上下残し、再表装
3	香取秀真	一酌池上酒	紙本墨画墨書	洗浄、裏打ち、上下残し、明朝新調、再表装
4	横地康國	スサノヲ狼藉	油彩・キャンバス	洗浄、補彩、ワニス塗布、新規額装、保存箱制作
5	横地康國	異邦人と女	油彩・キャンバス	剥落止め、洗浄、木枠新調・張り込み、補彩、ワニス塗布、新規額装、保存箱制作
6	横地康國	群舞	油彩・キャンバス	剥落止め、洗浄、破れ補修、木枠への張り直し、補彩、ワニス塗布、新規額装、保存箱制作
7	藤松博	X氏とY氏と女達	油彩・キャンバス	剥落止め、洗浄、木枠新調・張り込み、補彩、ワニス塗布、新規額装、保存箱制作
8	石井柏亭	球場晴雪	水彩・紙	画面の変形修正、台紙交換

額装（4点）

No.	作家名	作品名	技法・材質	概要
1	石井柏亭	（風景）	水彩・紙	新規額装、保存箱制作 30mm巾セピア額、グレージングカバー：UV99キャストアクリル
2	石井柏亭	浅間よりアルプス眺望	水彩・紙	既存額の修理及び部材取替、保存箱制作 グレージングカバー：UV99キャストアクリル
3	石井柏亭	魚見崎風景	水彩・紙	既存額の修理及び部材取替
4	石井柏亭	伊豆長津呂	水彩・紙	既存額の修理及び部材取替

貸出作品

美術館等からの作品の貸出依頼については、展覧会の内容、作品の状態、当館の展示計画等を考慮して応じている。2024年度は下記のとおり行った。
※2023年度から継続の件は、2023年度年報に掲載済みにつき省略。

貸出先総数　4件8箇所
貸出作品総数　170点

1　展覧会：「生誕150年記念 菱田春草展 不朽の名作《落葉》誕生秘話」

会場／会期：福井県立美術館／2024年9月15日（日）～11月4日（月祝）
貸出先：福井県立美術館
貸出作品：4点

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	西郷孤月	月下雁行	明治30年代中頃	絹本着色	122.6 × 48.0
2	西郷孤月	月下飛鷺	明治30年代後半	絹本着色	122.4 × 49.3
3	西郷孤月	月下松浜図	明治40年代初頭（1907年頃）	絹本着色	121.4 × 49.2
4	西郷孤月	台湾風景	1912	絹本着色	42.0 × 118.0

2　展覧会：「松本市美術館所蔵　草間彌生　版画の世界 ―反復と増殖―」

会場／会期：鹿児島市立美術館／2024年9月27日（金）～11月10日（日）
貸出先：鹿児島市立美術館、朝日新聞社
貸出作品：156点

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	草間彌生	靴をはいて野にゆこう	1979	シルクスクリーン・紙	50.5 × 65.0
2	草間彌生	南瓜	1982	リトグラフ、シルクスクリーン・紙	52.2 × 45.7
3	草間彌生	南瓜	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	15.6 × 22.6
4	草間彌生	ドレス	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	58.6 × 47.8
5	草間彌生	自画像	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	22.5 × 15.5
6	草間彌生	ニューヨーク	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	15.5 × 22.5
7	草間彌生	帽子	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	15.5 × 22.5
8	草間彌生	無限の網　１９５８	1958-1982	シルクスクリーン・紙	27.0 × 31.5
9	草間彌生	蝶	1982	シルクスクリーン・紙	26.8 × 32.1
10	草間彌生	帽子-S	1982	シルクスクリーン・紙	27.0 × 32.2
11	草間彌生	帽子	1983	シルクスクリーン・紙	45.0 × 52.5
12	草間彌生	富士	1983	シルクスクリーン・紙	49.0 × 60.0
13	草間彌生	ぶどう	1983	シルクスクリーン・紙	60.0 × 49.0
14	草間彌生	ぶどう	1983	シルクスクリーン・紙	52.5 × 45.0
15	草間彌生	靴	1984	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0
16	草間彌生	金魚鉢	1984	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0
17	草間彌生	花	1984	シルクスクリーン・紙	53.0 × 45.5
18	草間彌生	帽子	1984	リトグラフ・紙	31.2 × 40.7
19	草間彌生	南瓜	1984	リトグラフ・紙	31.2 × 40.7
20	草間彌生	南瓜	1984	リトグラフ・紙	31.2 × 40.7
21	草間彌生	靴	1984	リトグラフ・紙	31.2 × 40.7
22	草間彌生	無限の網	1953-1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.6
23	草間彌生	無限の網	1953-1984	リトグラフ・紙	31.2 × 40.7
24	草間彌生	無限の網	1953-1984	エッチング・紙	27.0 × 45.2
25	草間彌生	無限の網	1953-1984	エッチング・紙	27.5 × 44.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
26	草間彌生	無限の網	1953-1984	エッチング・紙	30.0 × 19.8
27	草間彌生	無限の網	1953-1984	エッチング・紙	22.5 × 18.5
28	草間彌生	無限の網	1953-1984	エッチング・紙	30.0 × 20.0
29	草間彌生	集積	1953-1984	エッチング・紙	27.3 × 45.3
30	草間彌生	エンドレス	1953-1984	エッチング・紙	27.5 × 45.0
31	草間彌生	集積	1953-1984	エッチング・紙	27.7 × 45.3
32	草間彌生	エンドレス	1953-1984	エッチング・紙	36.2 × 19.8
33	草間彌生	心	1984	エッチング・紙	29.5 × 19.5
34	草間彌生	静物	1984	エッチング・紙	27.5 × 45.0
35	草間彌生	かぼちゃ	1985	エッチング・紙	22.5 × 18.5
36	草間彌生	エンドレス	1985	エッチング・紙	21.0 × 27.5
37	草間彌生	花	1985	エッチング・紙	42.2 × 27.5
38	草間彌生	花	1985	エッチング・紙	27.5 × 42.0
39	草間彌生	無限の網	1953-1985	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.6
40	草間彌生	花	1985	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.0 × 45.5
41	草間彌生	コーヒーカップ	1985	シルクスクリーン・紙	52.7 × 45.2
42	草間彌生	蝶	1985	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0
43	草間彌生	花	1985	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0
44	草間彌生	花（2）	1985	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.6
45	草間彌生	魚	1986	シルクスクリーン・紙	46.0 × 53.5
46	草間彌生	帽子	1986	シルクスクリーン・紙	46.0 × 53.5
47	草間彌生	チューリップ	1986	シルクスクリーン・紙	53.5 × 46.0
48	草間彌生	南瓜	1986	シルクスクリーン・紙	90.2 × 72.2
49	草間彌生	魚	1986	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 52.5
50	草間彌生	無限の網（C）	1953-1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.1 × 44.3
51	草間彌生	魚	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 52.5
52	草間彌生	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3
53	草間彌生	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3
54	草間彌生	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3
55	草間彌生	コーヒーカップ	1988	シルクスクリーン・紙	91.0 × 67.3
56	草間彌生	蝶	1988	シルクスクリーン・紙	67.8 × 78.7
57	草間彌生	暁	1989	シルクスクリーン・紙	52.8 × 45.4
58	草間彌生	花園	1989	シルクスクリーン・紙	45.3 × 52.5
59	草間彌生	夜	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8
60	草間彌生	貝	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8
61	草間彌生	ひまわり	1989	シルクスクリーン・紙	52.8 × 45.4
62	草間彌生	百合	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.7
63	草間彌生	月食	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8
64	草間彌生	蝶	1989	シルクスクリーン・紙	45.0 × 52.5
65	草間彌生	深海	1989	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0
66	草間彌生	夏の花	1990	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.8
67	草間彌生	かぼちゃ	1990	シルクスクリーン・紙	53.5 × 45.0
68	草間彌生	かぼちゃ（A）	1990	シルクスクリーン・紙	45.0 × 53.5
69	草間彌生	かぼちゃ（黄T）	1992	シルクスクリーン・紙	72.3 × 60.4
70	草間彌生	かぼちゃ（白T）	1992	シルクスクリーン・紙	72.3 × 60.4
71	草間彌生	赤かぼちゃ	1992	シルクスクリーン・紙	72.3 × 60.5
72	草間彌生	かぼちゃ（S）	1992	シルクスクリーン・紙	17.9 × 14.0
73	草間彌生	かぼちゃ（OG）	1992	シルクスクリーン・紙	38.0 × 45.7
74	草間彌生	レモンスカッシュ	1992	リトグラフ・紙	28.4 × 22.9
75	草間彌生	雑草	1992	エッチング・紙	27.0 × 22.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
76	草間彌生	三本の花（Ⅰ）	1992	リトグラフ・紙	28.4 × 23.0
77	草間彌生	三本の花（Ⅱ）	1992	リトグラフ・紙	28.4 × 23.0
78	草間彌生	花（1）	1992	リトグラフ・紙	28.4 × 23.0
79	草間彌生	かびん（1）	1992	リトグラフ・紙	28.4 × 23.0
80	草間彌生	かびん（2）	1992	リトグラフ・紙	28.4 × 23.0
81	草間彌生	レモンスカッシュ（Ⅰ）	1992	リトグラフ・紙	28.4 × 23.0
82	草間彌生	河波	1993	エッチング・紙	27.5 × 21.9
83	草間彌生	ドッツ　アキュミレイション	1993	エッチング・紙	27.5 × 22.0
84	草間彌生	花 AZ	1993	シルクスクリーン・紙	72.7 × 60.6
85	草間彌生	花 FW	1993	シルクスクリーン・紙	72.7 × 60.6
86	草間彌生	花 PX	1993	シルクスクリーン・紙	72.7 × 60.6
87	草間彌生	花	1993	シルクスクリーン・紙	27.3 × 22.0
88	草間彌生	かぼちゃの神様	1993	シルクスクリーン・紙	65.5 × 53.5
89	草間彌生	かぼちゃのひるね	1993	シルクスクリーン・紙	53.5 × 65.5
90	草間彌生	ダンスかぼちゃ	1993	シルクスクリーン・紙	50.0 × 72.5
91	草間彌生	かぼちゃ３つ	1993	シルクスクリーン・紙	24.0 × 33.0
92	草間彌生	赤色かぼちゃ	1994	シルクスクリーン・紙	45.5 × 52.5
93	草間彌生	失意	1994	シルクスクリーン・紙	51.5 × 36.2
94	草間彌生	畑	1994	エッチング・紙	29.5 × 45.2
95	草間彌生	水玉	1994	エッチング・紙	29.5 × 41.8
96	草間彌生	水玉の集積	1994	エッチング・紙	29.5 × 41.8
97	草間彌生	波	1994	エッチング・紙	41.8 × 29.5
98	草間彌生	かぼちゃ軍団	1994	エッチング・紙	29.5 × 45.2
99	草間彌生	きのこ	1995	エッチング・紙	22.1 × 29.5
100	草間彌生	春	1995	エッチング・紙	22.0 × 34.3
101	草間彌生	かぼちゃ	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.0
102	草間彌生	星	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.0
103	草間彌生	開花	1995	エッチング・紙	34.3 × 22.1
104	草間彌生	自画像	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.3
105	草間彌生	自画像	1995	エッチング・紙	29.4 × 22.0
106	草間彌生	幻の光	1995	エッチング・紙	31.3 × 22.5
107	草間彌生	無限の網	1995	エッチング・紙	39.5 × 54.5
108	草間彌生	エンドレス	1995	エッチング・紙	39.5 × 54.5
109	草間彌生	かぼちゃ（GT）	1996	シルクスクリーン・紙	29.8 × 22.8
110	草間彌生	かぼちゃ（GY）	1996	シルクスクリーン・紙	22.8 × 29.8
111	草間彌生	かぼちゃ（RY）	1996	シルクスクリーン・紙	22.8 × 29.8
112	草間彌生	果物	1997	リトグラフ・紙	24.0 × 33.0
113	草間彌生	網 B.O.	1997	シルクスクリーン・紙	51.5 × 36.3
114	草間彌生	波（1）	1998	シルクスクリーン・紙	59.7 × 47.8
115	草間彌生	かぼちゃ（YSQ）	1998	シルクスクリーン・紙	30.0 × 30.0
116	草間彌生	かぼちゃ（RSQ）	1998	シルクスクリーン・紙	30.0 × 30.0
117	草間彌生	かぼちゃ（BSQ）	1998	シルクスクリーン・紙	30.0 × 30.0
118	草間彌生	陽光	1998	シルクスクリーン・紙	59.7 × 47.8
119	草間彌生	夜の雨（1）	1998	シルクスクリーン・紙	60.0 × 47.9
120	草間彌生	花さける信濃路	1999	シルクスクリーン・紙	59.7 × 47.7
121	草間彌生	波頭	1999	シルクスクリーン・紙	59.7 × 47.8
122	草間彌生	風	1999	シルクスクリーン・紙	65.6 × 53.8
123	草間彌生	心（1）	1999	シルクスクリーン・紙	47.7 × 59.6
124	草間彌生	かぼちゃ MT	1999	シルクスクリーン・紙	44.3 × 36.6
125	草間彌生	ハイヒール（2）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
126	草間彌生	ハイヒール（3）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0
127	草間彌生	レモンスカッシュ（1）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0
128	草間彌生	レモンスカッシュ（3）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0
129	草間彌生	レモンスカッシュ（5）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0
130	草間彌生	花（2）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0
131	草間彌生	花（4）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0
132	草間彌生	果物かご（1）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0
133	草間彌生	果物かご（2）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0
134	草間彌生	果物かご（3）	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0
135	草間彌生	かぼちゃ P	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	47.8 × 59.9
136	草間彌生	かぼちゃ G	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	47.8 × 59.9
137	草間彌生	かぼちゃ（I）	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5
138	草間彌生	帽子（I）	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5
139	草間彌生	フルーツバスケット（I）	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5
140	草間彌生	蝶々（I）	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5
141	草間彌生	チューリップ（I）	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.5 × 38.0
142	草間彌生	無限の網	2000	シルクスクリーン・ミラーフィルム	27.0 × 21.0
143	草間彌生	生命は限りもなく、宇宙に燃え上がって行く時	2014	木版・紙	30.3 × 90.0
144	草間彌生	永遠に輝く我が命、この人間愛は何億光年も滅びる事はない	2014	木版・紙	30.3 × 90.0
145	草間彌生	宇宙や人類の生命のありか	2014	木版・紙	30.3 × 90.0
146	草間彌生	富士は心の故郷	2014	木版・紙	42.0 × 59.5
147	草間彌生	恋人たち	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0
148	草間彌生	宴のあと（SOXTE）	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0
149	草間彌生	１０００の目（TWOXZ）	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0
150	草間彌生	愛はとこしえ（OPXTWE）	2005	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3
151	草間彌生	河のながれ	2006	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3
152	草間彌生	愛はとこしえ（TAOW）	2004	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0
153	草間彌生	野に出でる	2006	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3
154	草間彌生	花咲けるニューヨーク（OPRT）	2005	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3
155	草間彌生	生老病死（QXPAT）	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0
156	草間彌生	芽ぶき（TOXZS）	2006	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0

3　展覧会：「柚木沙弥郎 永遠のいま」

会場／会期：①岩手県立美術館／ 2024年10月19日（土）～ 12月22日（日）
②岡山県立美術館／ 2025年2月14日（日）～ 3月23日（日）
③島根県立美術館／ 2025年4月18日（金）～ 6月16日（月）
④静岡市美術館／ 2025年8月16日（土）～ 10月13日（月祝）
⑤東京オペラシティ アートギャラリー／ 2025年10月24日（金）～ 12月21日（日）

貸出先：岩手県立美術館、岡山県立美術館、島根県立美術館、静岡市美術館、東京オペラシティ アートギャラリー、NHKプロモーション

貸出作品：4点

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	柚木沙弥郎	無題 2019	2019	型染・木綿	198.0 × 173.0
2	柚木沙弥郎	いのちの樹	2018	型染・絹	240.0 × 128.0
3	柚木沙弥郎	木もれ陽	2019	型染・木綿	226.0 × 173.0
4	柚木沙弥郎	鳥獣戯画	2019	水彩・紙	114.0 × 1193.0

4　展覧会：「信州から考える 絵画表現の50年」

会場／会期：長野県立美術館／ 2025年2月1日（土）～ 4月6日（日）

貸出先：長野県立美術館

貸出作品：6点

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	藤松博	旋回	1956	油彩・キャンバス	65.5 × 90.0
2	藤松博	（無題）	1960	油彩・キャンバス	131.5 × 130.0
3	堀内康司	風景の中の静物	1954	グァッシュ、コンテ、砂・紙	147.0 × 115.0
4	堀内康司	赤い煙突	1954	鉛筆、色鉛筆、コンテ、インク、パステル・紙	64.0 × 47.0
5	堀内康司	冬の太陽	1955	鉛筆、色鉛筆、パステル、グァッシュ・紙	47.5 × 64.0
6	草間彌生	机上	1950	油彩ほか・麻布（種袋）	80.4 × 65.5

4　教育普及

4-1　教育普及事業

4-2　アートライブラリー

4-3　音声ガイド

4-4　友の会

教育普及事業

館長講座「よみなおし日本美術史」

映画「手でふれてみる世界」上映会&トーク

※企画展覧会の関連事業は、展覧会概要の「関連行事」を参照。

1　アートレクチャー

館長講座

「よみなおし日本美術史」

①「書画」とは何か1－よみなおし近世中国絵画史、②「書画」とは何か2－ふりかえり日本の書と画、③池大雅－「漢画」から「南画」へ、④与謝蕪村－詩情の画家、⑤伊藤若冲－視覚の冒険者、⑥曾我蕭白－「狂」なるものの系譜

日時：2025年2月8日（土）・15日（土）、3月2日（日）・9日（日）・15日（土）・23日（日）
各日午後1時30分～3時

講師：小川稔（松本市美術館館長）

会場：講座室

対象：一般

料金：無料

参加者数：延べ188人（①28人、②32人、③30人、④29人、⑤40人、⑥29人）

学芸講座

「草間彌生の全て」

日時：9月5日（木）午後3時～5時

講師：澁田見彰（松本市美術館学芸員）

会場：アルピコ交通本社ビル

対象：アルピコホールディングス

料金：無料

参加者数：30人

「草間彌生の芸術」

日時：2025年2月8日（土）午前10時～正午

講師：澁田見彰（松本市美術館学芸員）

会場：講座室

対象：アルプス善意通訳協会

料金：無料

参加者数：26人

2　学都松本推進事業

映画「手でふれてみる世界」上映会&トーク

イタリアのオメロ触覚美術館を創設した視覚障がいの老夫婦を中心に展開するドキュメンタリー映画（60分）を上映し、監督・岡野晃子氏をゲストに迎えたアフタートーク（手話通訳付き）を行った。

日時：2025年2月11日（火祝）午後2時～4時

登壇者：岡野晃子（映画監督・キュレーター）、小川稔（松本市美術館館長）、
金井直（信州大学人文学部教授）

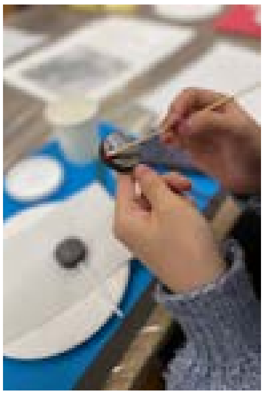
会場：多目的ホール

対象：一般

料金：無料

主催：松本市美術館、信州大学人文学部

参加者数：77人



お話＋ミニワークショップ
「ものとの対話　保存修復のしごと」

「対話型アート鑑賞」

3　学校との連携等

教育普及の一環として学校を対象とした取り組みについて、下記のとおり実施した。

実習・職場体験等

「博物館実習」
日時：7月20日（土）～22日（月）、8月3日（土）～5日（月）
対象：学芸員資格取得希望の大学生
参加者数：3人
内容：学芸業務、展示作業補助、教育普及事業補助・運営ほか

「キャリアアップ研修、探求学習」
件数：3校
人数：36人
日数：各1日
対象：高校生

「校外学習」
件数：1校
人数：5人
日数：1日
対象：養護学校生

「職場体験学習」
件数：6校
人数：10人
日数：1日または2日
対象：中学生

「異業種体験研修」
件数：3校
人数：3人
日数：各2日
対象：学校教諭

松本学生美術会連携事業
お話＋ミニワークショップ「ものとの対話　保存修復のしごと」
文化財の「修復」について専門家から話を聞いたあと、ミニワークショップ（修復体験）を行った。
日時：10月27日（日）午後1時30分～4時
講師：森尾さゆり（コンサバター（保存修復師））
会場：市民アトリエ
対象：中学生以上
料金：500円
共催：松本学生美術会
参加者数：21人

信大連携事業
「対話型アート鑑賞」
医学生の観察力や言語力、コミュニケーション力を高めるため、教育に美術鑑賞を取り入れたプログラム。講師の話を聞いたあと、コレクション展示の作品により対話型鑑賞を行った。
日時：7月24日（水）午後1時30分～4時
講師：森永康平（ミルキク代表）
会場：講座室、上條信山記念展示室、田村一男記念展示室
対象：信州大学医学部医学科4年生
料金：無料
共催：信州大学医学部地域医療推進学教室
参加者数：8人

4　「工芸の五月」美術館ステージ

“くらしの美”を多方面から提案する「工芸の五月」。全国的にも知られている「クラフトフェアまつもと」をメインイベントに、工芸月間として市内随所で松本の魅力を発信しようとする取り組み。

「建築家とめぐる城下町みずのタイムトラベル
旧町巡り　中町編」

みずみずしい日常2024

「建築家とめぐる城下町みずのタイムトラベル　旧町巡り　中町編」

旧町「親町」を歩くシリーズ第2弾。城下町で蔵のまち、中町とその枝町を工芸、建築・都市、湧水をテーマに松本市内の建築家と巡った。

日時：5月11日（土）・12日（日）・18日（土）・19日（日）
　　　各日午後1時30分～3時30分
会場：博物館正面入口集合、美術館解散
対象：一般
料金：無料
参加者数：計61人

異形の宴「生命の像　イノチノカタチ」

展示

異形の宴「生命の像　イノチノカタチ」

工芸と彫刻の狭間を漂う展覧会。6回目となる今回は、動物をモチーフに制作をしている5名の現代作家の作品を展示した。

会期：5月11日（土）～5月19日（日）午前9時～午後5時
　　　※5月13日（月）休館、最終日午後4時まで
会場：市民ギャラリーA
出展者：明田一久（石）、大曽根俊輔（乾漆）、kao堀内薫（セラミック）、平島鉄也（鋳造）、
　　　　安田ジョージ（木と布）
運営：松本クラフト推進協会
料金：無料
入場者数：1,794人

異形の宴「お面作り」

ワークショップ

異形の宴「お面作り」

厚紙にシルクスクリーン印刷や絵を描いたり、さまざまな素材を貼り付けて立体のお面を作った。

日時：5月19日（日）午前9時～正午
会場：講座室
運営：松本クラフト推進協会
料金：無料
参加者数：32人

5　その他の連携事業・イベント

「美術館のキャンドル・ナイト」

美術館中庭・水辺等にキャンドルを灯し、スローな時間を楽しむアートイベント。
宮澤信氏（気象予報士）によるエコライフトーク、松本シビックオーケストラによるコンサート、ライトダウンを実施

日時：6月7日（金）午後6時～8時30分
会場：市民創造ひろば、講座室・市民アトリエ
主催：松本市美術館、エコネットまつもと
参加者数：約200人

アートライブラリー

　松本市美術館の基本方針にある「美術館がめざす四つの柱」のうちの一つである「学習の場」として、美術に関係する書籍等を取り揃え、利用者のニーズに応えられるよう、毎年収集に力を入れている。一般書籍に加え、松本市美術館で開催する展覧会に関するもの、収蔵作品に関するもの、美術関係雑誌などを購入。雑誌は、例年に引き続き複数誌を年間通して配架し、日々の文化・芸術関連の情報収集に努めた。さらに、他館との書籍資料の相互交換や個人等からの寄贈も多く、収蔵図書の充実に繋がっている。

　より親しみやすく、気軽にアートが楽しめる場所となるような書籍も配架するよう心掛け、ソファのあるスペースは、親子で楽しめるよう絵本を置いている。各企画展に合わせた特別コーナーを設置、草間彌生関連書籍コーナーの設置などを試み、利用者に対する利便性を考えた図書室運営を目指している。

2024（令和6）年度の受入状況

定期刊行物	新聞	3紙	
	雑誌	25タイトル	236冊
交換・寄贈図書		365冊	
購入図書		81冊	

収蔵状況

収蔵ビデオ本数	509本
収蔵図書冊数	32,310冊
上記の他に、下記の蔵書がある	
池上百竹亭旧蔵書籍	4,218冊
田村一男旧蔵書籍	1,281冊
米倉守旧蔵書籍	1,252冊
松本市図書館リサイクル書籍	1,892冊

※ 2025.3.31 現在

2024（令和6）年度　入室者数

	利用者（人）	レファレンス（人）
2024年4月	1,128	4
5月	1,416	12
6月	1,195	12
7月	1,499	5
8月	2,428	5
9月	1,433	5
10月	1,307	11
11月	1,101	11
12月	830	6
2025年1月	870	8
2月	1,106	7
3月	1,136	6
合計	15,449	92

音声ガイド

松本市美術館を利用する方に、より深く美術館に親しんでいただくため、2023（令和5）年度より、所蔵品管理システム「I.B. MUSEUM」に美術館の施設や主な作家、作品についての解説を入力している。さらにデータをアプリ「ミュージアム展示ガイド『ポケット学芸員』」に連携し、解説を読んだり音声で聞いたりすることを可能とし、展示室でスマートフォンを使った音声ガイドの利用を実施している。2024（令和6）年度は、外国の方も対象に、英語に翻訳した下記48点の解説を音声ガイドで利用できるようにした。

No.	内容①／作家名	内容②／作品名
1	松本市美術館の概要	簡単な沿革、施設案内、開館時間・休館日など
2	田村一男記念展示室	展示室の場所、位置づけ説明
3	池上百竹亭コレクション展示室	展示室の場所、位置づけ説明
4	草間彌生　魂のおきどころ	展示の概要
5	おもな作家解説	田村一男
6	おもな作家解説	池上百竹亭（喜作）
7	おもな作家解説	草間彌生
8	おもな作家解説	細川宗英
9	上地瑛一郎	月皓
10	鈴木鵞湖	老仙図
11	石井柏亭	中信酒客
12	河越虎之進	婦人の朝
13	小林邦	早春浅間山
14	関四郎五郎	鉢伏山
15	池田満寿夫	令嬢ジュリー
16	細川宗英	道元
17	細川宗英	王妃像 No.1
18	髙橋節郎	樹下好景
19	上條信山	堅勁
20	上條信山	執
21	上條信山	西郷南洲詩「偶成」（調和体）
22	上條信山	式子内親王のうた
23	田村一男	蓼科山
24	田村一男	グラナダの丘
25	田村一男	春容
26	田村一男	陽月
27	田村一男	ゆききたる
28	田村一男	北信濃
29	田村一男	五竜
30	田村一男	雪の白樺湖
31	池上百竹亭コレクション	正岡子規《子規居士臨模古絵題詠（「藤娘」図）》
32	池上百竹亭コレクション	正岡子規《俳句分類原稿》、河東碧梧桐 句《「七草の～」》、中村不折 画《子規像》
33	池上百竹亭コレクション	下村為山《子規居士像》、高濱虚子《「子規逝くや～」》
34	池上百竹亭コレクション	平福百穂《松籟泉声》
35	池上百竹亭コレクション	柳宗悦《茶偈》
36	武井真澂	雲海朝陽図
37	石踊達哉	エスパリエール
38	滝沢具幸	連山
39	田渕俊夫	あずみ野
40	中野嘉之	雨過天晴
41	草間彌生	幻の華
42	草間彌生	大いなる巨大な南瓜
43	草間彌生	天国への梯子
44	草間彌生	「わが永遠の魂」シリーズ
45	草間彌生	傷みのシャンデリア
46	石井鶴三	森の男
47	石井鶴三	藤村先生像（二）
48	草間彌生	初期作品について

友の会

友の会は、松本市美術館の管理運営について、広く市民から意見を求めるため設置した「松本市美術館開設市民研究会」が母体となり、発足した。

設　立／ 2002（平成14）年6月9日（日）
目　的／美術館活動への支援・協力
　　　　友の会活動を通じて会員の教養を高め、親睦と交流を深める
会員数／個人215名、ファミリー 11組、法人18口

2024（令和6）年度　主な活動

2024年
4月21日（日）　総会　事業・会計報告、事業計画・予算
5月25日（土）　ワークショップ　人物デッサン会①
5月30日（木）　会報「パレット」50号発行
6月 9日（日）　ワークショップ　絵はがき講座①
7月 6日（土）　ワークショップ　人物デッサン会②
9月 7日（土）　ワークショップ　裸婦デッサン会①
9月 8日（日）　ワークショップ　裸婦デッサン会②
10月19日（土）　秋の研修旅行
10月20日（日）　ワークショップ　絵はがき講座②
10月26日（土）　ワークショップ　人物デッサン会③
11月 7日（火）　会報「パレット」51号発行
11月17日（土）　ワークショップ　木版画／木彫を楽しもう
12月 7日（土）　ワークショップ　人物デッサン会④
12月 8日（日）　クリスマスワークショップ楽しいタイルアート
12月14日（土）　会員交流会
2025年
1月 5日（日）～ 16日（日）
　　第22回　友の会会員作品展
　　同時開催　ワークショップ受講者作品展

2024（令和6）年度　松本市美術館友の会　役員名簿

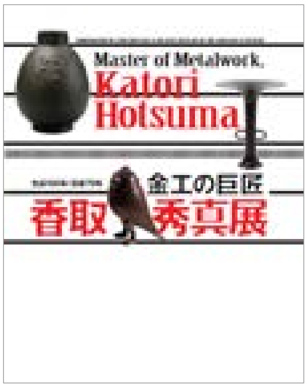
職　名	氏　名
顧　問	小川　稔
	北村明也
	中村石浄
会　長	岩垂正美
副会長	御子柴英遠
	山越久美子
	結城賢二郎
事務局長	田中伸季
事務局長補佐	太田浩介
事務局員	稲田八千代
	坂本紀子
	白木總一
	夏目衣里子
会　計	渡辺　薫
監　事	小原美苗
	祖父江律子
理　事	秋山美俊
	伊藤美香
	大澤逸山
	小松宏江
	鈴木清登
	高橋昭一
	鳥居清美
	西條毅昌
	原　元勝
	降幡宗風
	丸山勝子
	水上智子
	森　重樹
	山岸深志
	山田和夫
	吉村幸代

5　広報・出版

刊行物

刊行物

［図録］



『生誕150年／没後70年　金工の巨匠
香取秀真展』
※詳細は展覧会概要の「図録」を参照

［美術館ニュース］

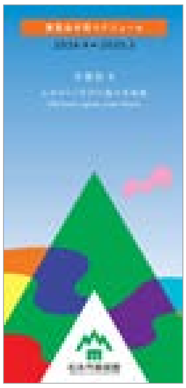
「松本市美術館ニュース　あーとふるVol.77」
発行日／ 2024年4月
A4判、4ページ、5,000部
アートエキシビション・ガイド「手塚治虫 ブラック・ジャック展」／大島武
ワークショップレポート「特別展「須藤康花 ―光と闇の記憶―」関連プログラム」
視る「上原正三《赤い鳥の居る風景》」／鰐川枝里
身近なアート「ロゴに見るブランドイメージ」／武藤美紀
ポルカドット号探検記　第42回「手術道具としての漫画」／小川稔
リレーエッセイ「本当のフィンランド」／中澤聡
2024年度開催の展覧会
その他「人物往来」

「松本市美術館ニュース　あーとふるVol.79」
発行日／ 2024年10月
A4判、4ページ、5,000部
アートエキシビション・ガイド「生誕150年／没後70年　金工の巨匠　香取秀真展」／稲村純子
ワークショップレポート「「北欧の神秘展」関連プログラム、今後の教育普及事業」
視る「草間彌生《靴をはいて野にゆこう》」／澁田見彰
身近なアート「刺繍」／中澤聡
ポルカドット号探検記　第44回「香取秀真と百竹亭」／小川稔
リレーエッセイ「表情豊かな金属」／藤原裕希
音声ガイド導入のお知らせ

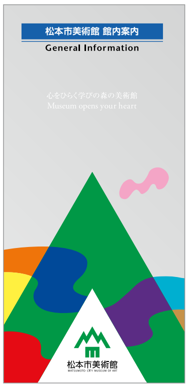
「松本市美術館ニュース　あーとふるVol.78」
発行日／ 2024年7月
A4判、4ページ、5,000部
アートエキシビション・ガイド「北欧の神秘 ―ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画」／中澤聡
視る「香取秀真《釜　竹林群雀文》」／稲村純子
身近なアート「軒下の鍾馗さん」／北原麻椰
ミュージアムショップ便り／鬼頭千佳
ワークショップレポート「工芸の五月」美術館ステージ
ポルカドット号探検記　第43回「トロルは怪獣？妖精？」／小川稔
リレーエッセイ「環境が変わる」／原澤知也

「松本市美術館ニュース　あーとふるVol.80」
発行日／ 2025年1月
A4判、4ページ、5,000部
アートエキシビション・ガイド「フィロス・コレクション　ロートレック展　時をつかむ線」／大島武
視る「武井真澂《穂高山頂大観》」／原澤知也
身近なアート「畳」／稲村純子
ワークショップレポート「ものとの対話 保存修復のしごと、「香取秀真展」関連プログラム」
ポルカドット号探検記　第45回「フランスの浮世絵師」／小川稔
リレーエッセイ「アートの中の数学」／北原麻椰
インフォメーション「ホームページがリニューアル、コレクション展示観覧料改定のお知らせ」

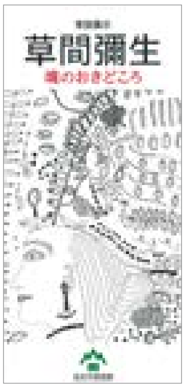
［展覧会、館内案内］



「展覧会年間スケジュール2024.4－2025.3」
A4判三つ折、40,000部発行



「館内案内」
A4判三つ折、10,000部発行



「コレクション展示 草間彌生 魂のおきどころ」
A4判三つ折
日本語版　45,000部発行
英語版　24,000部発行
簡体版　4,000部発行
繁体版　4,000部発行

［ポスター］

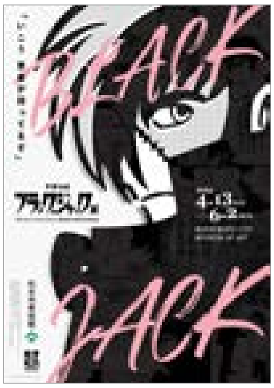
「手塚治虫 ブラック・ジャック展」
B2判、1,700部発行

「北欧の神秘 —ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画」
B2判、1,800部発行

「生誕150年／没後70年　金工の巨匠
香取秀真展」
B2判、1,800部発行

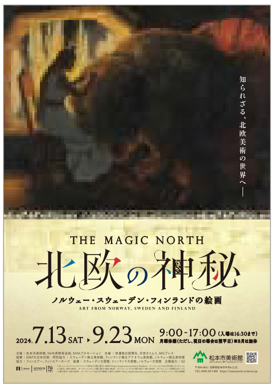
「フィロス・コレクション　ロートレック展
時をつかむ線」
B2判、2,000部発行

［チラシ］

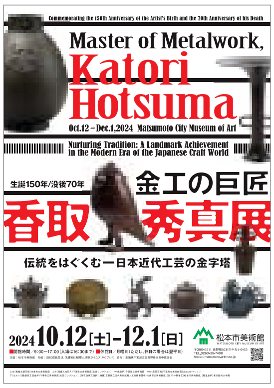


「手塚治虫 ブラック・ジャック展」
A4判（両面カラー）、40,000部発行

「フィロス・コレクション　ロートレック展　時をつかむ線」
A4判（両面カラー）、40,000部発行



「北欧の神秘 ―ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画」
A4判（両面カラー）、40,000部発行



「生誕150年／没後70年　金工の巨匠　香取秀真展」
A4判（両面カラー）、35,000部発行

6 施設の利用

施設の利用

展示使用（市民ギャラリー、多目的ホール等）

No.	展覧会名	会期	日数	入場者数（人）
1	佐藤善樹写真展	2024年 4月 2日（火）～ 4月 7日（日）	6	2,110
2	星の海の小さき花・西尾泉・フローラルアート＆フォークロアハンドクラフト 荒野から祝福へ	4月 4日（木）～ 4月 6日（土）	3	27
3	二科長野支部展	4月 9日（火）～ 4月14日（日）	6	810
4	第31回水穂会信州支部つくし会書展	4月19日（金）～ 4月21日（日）	3	464
5	京都芸術大学甲信越会作品展	4月24日（水）～ 4月29日（月）	6	1,288
6	型絵染　三代澤本寿展	5月 2日（木）～ 5月 6日（月）	5	2,010
7	異形の宴「生命の像　イノチノカタチ」	5月11日（土）～ 5月19日（日）	8	1,794
8	水彩連盟長野県支部展	5月15日（水）～ 5月19日（日）	5	1,047
9	布と糸あそび	5月17日（金）～ 5月19日（日）	3	149
10	自然の煌めき	5月30日（木）～ 6月 2日（日）	4	456
11	第27回中信高等学校写真展	5月31日（金）～ 6月 2日（日）	3	574
12	8つの絵画教室作品展	6月 4日（火）～ 6月 9日（日）	6	1,111
13	2024合同写真展　ニッコールクラブ松本支部 松本ハッセルブラッドフォトクラブ	6月 5日（水）～ 6月 9日（日）	5	797
14	第76回中信美術展	6月22日（土）～ 6月30日（日）	8	3,929
15	第43回日本現代工芸美術長野会展 同時開催作家小品展	7月 2日（火）～ 7月 7日（日）	6	2,222
16	アートマーブル	7月 4日（木）～ 7月 7日（日）	4	169
17	写好会　写真展	7月 9日（火）～ 7月15日（月）	7	294
18	第65回松本市芸術文化祭参加 松本詩人会　平和を祈る詩の展示・朗読会	7月14日（日）～ 7月21日（日）	7	827
19	松工創立85周年記念芸術展 第5回松エルネサンス展	7月24日（水）～ 7月28日（日）	5	797
20	第14回長野一水会展	7月31日（水）～ 8月 4日（日）	5	1,315
21	第16回地域現代作家代表作展	8月 7日（水）～ 8月18日（日）	12	5,666
22	点と線	8月 9日（金）～ 8月14日（水）	6	405
23	小澤征爾ー松本での日々	8月21日（水）～ 9月 1日（日）	12	9,241
24	第17回長野二紀展	8月26日（月）～ 9月 1日（日）	7	1,211
25	池口史子展ー画集刊行記念ー	9月 4日（水）～ 9月16日（月）	12	2,243
26	「季節を飾る」	9月 7日（土）～ 9月12日（木）	5	187
27	第28回松本フォトアカデミー写真展 2024「麗しの大地」	9月18日（水）～ 9月23日（月）	6	1,693
28	第39回蒼騎会長野県支部展	9月19日（木）～ 9月23日（月）	5	1,166
29	第50回記念　信州版画展	9月26日（木）～ 9月29日（日）	4	1,189
30	絹工房教室　展示発表会	9月27日（金）～ 9月29日（日）	3	715
31	第14回欅の森書道展	10月 4日（金）～10月 6日（日）	3	633
32	第23回宮田透作品展 ー写真とイラスト短歌の世界ー	10月 8日（火）～10月12日（土）	5	132
33	第65回松本市芸術文化祭参加 第51回松本地区書道協会作品展	10月12日（土）～10月14日（月）	3	891
34	第65回松本市芸術文化祭参加 松本学生美術展	10月18日（金）～10月20日（日）	3	1,164
35	第23回長野藍筍会展	10月25日（金）～10月27日（日）	3	477
36	松井直友作品展	10月25日（金）～10月31日（木）	6	72
37	増田実パステル画展	10月29日（火）～11月 4日（月）	7	870
38	第65回松本市芸術文化祭参加 第22回美術工芸展	10月31日（木）～11月 4日（月）	5	1,248
39	第65回松本市芸術文化祭参加 第41回中信地区高等学校書道展	11月 8日（金）～11月10日（日）	3	527

40	第22回信州現展	11月12日（火）～11月17日（日）	6	1,869
41	松本産切り花の展示	11月15日（金）～11月17日（日）	3	303
42	第65回松本市芸術文化祭参加 市民合同展	11月20日（水）～11月24日（日）	5	1,174
43	写真展 四季の彩り	11月26日（火）～12月 1日（日）	6	160
44	第42回信州書象展	11月29日（金）～12月 1日（日）	3	634
45	第45回日本山岳写真協会 松本支部展　’24山の便り	12月 4日（水）～12月 8日（日）	5	1,638
46	臨床美術　誰でもアート展	12月 7日（土）～12月 8日（日）	2	59
47	長野県書道展	12月13日（金）～12月15日（日）	3	2,122
48	写真展「まつもと散歩」	12月13日（金）～12月15日（日）	3	463
49	上條陽子とガザの画家たち	12月19日（木）～12月22日（日）	4	590
50	銀河書道展	12月27日（金）～12月28日（土）	2	573
51	第23回美術館友の会会員作品展	2025年 1月 5日（日）～ 1月16日（木）	10	1,488
52	松本第一高校 美術工芸系統生徒作品展	1月24日（金）～ 1月26日（日）	3	1,096
53	氷彫フェスティバル2025	1月24日（金）～ 1月26日（日）	3	2,132
54	PARCOポスター展　1969 – 2024	1月24日（金）～ 2月 9日（日）	15	4,860
55	第２6回テレビ松本　小中学生立体アート作品展	2月 5日（水）～ 2月 9日（日）	5	1,629
56	エクセラン高等学校美術科　第24期生卒業制作展・教員展	2月12日（水）～ 2月16日（日）	5	1,622
57	ひと、まち、建築見つめようくらしの場2025 第19回建築祭	2月22日（土）～ 2月23日（日）	2	280
58	第５回あーとりえ教室作品展	3月 1日（土）～ 3月 2日（日）	2	164
59	第35回松本かな美の書展	3月 7日（金）～ 3月 9日（日）	3	653
60	つむぎの展「輝々」	3月11日（火）～ 3月16日（日）	6	202
61	撮るしん展	3月11日（火）～ 3月16日（日）	6	1,500
62	中川幸子 パッチワークキルト展	3月18日（火）～ 3月23日（日）	6	1,025
63	心のふれあい絵手紙展	3月26日（水）～ 3月30日（日）	5	978
64	佐久間直勝コレクション展・原尚子展	3月26日（水）～ 3月30日（日）	5	1,202
			合計	80,336

7 その他の入館者サービス

7-1 ミュージアムショップ
7-2 その他

ミュージアムショップ

今年度はオリジナル商品として草間彌生の作品を使用した「マグネット《花さける信濃路》」、「ポーチ《花さける信濃路》」、「トートバッグ《葡萄》」、「スケッチブック《葡萄》」、「風呂敷《花さける信濃路》」を開発した。当館ならではの要素を取り入れ、南瓜やドット柄の作品だけでは紹介しきれない草間の創作活動の奥深さを、商品を通して広めたいと考え、草間が少女の頃に過ごした松本への眼差しが感じられる作品《花さける信濃路》、信州・松本らしさのある作品《葡萄》を採用した。

また、10月初めより新デザインのショッピング袋4種を導入した。環境に配慮しプラスチック袋を廃止し、ごみ削減の観点により2種類の手提げ袋は有料化。松本市内に拠点を置くvent de moe（ヴァン・ドゥ・モエ）のデザイナー・小林萌氏にデザインを依頼した。ハンドルつき手提げ紙袋は松本市の自然環境を想起させるデザイン。小判抜き手提げ袋およびマチなし紙袋は松本市の豊かな文化土壌と「心をひらく学びの森」としての美術館をイメージした水彩ドローイングを重ねたデザイン。どちらも美術館の思い出に豊かな彩りを与えるデザインになった。

「手塚治虫 ブラック・ジャック展」では巡回展グッズや漫画本を含めた関連書籍を多数展開。なかでもキャラクターがプリントされたクッキーと『新装版ブラック・ジャック全17巻』が人気だった。

「北欧の神秘展」では巡回展オリジナルグッズに加え、北欧の絵本や雑貨、書籍を取り揃えた。とりわけノルウェーのコーヒーショップFuglen COFFEEのドリップパックが人気を得た。また松本会場の特色を出すため、北欧の生活に欠かせない蝋燭に着目し、松本市内で活動している「蝋燭夜々」による信州産ハーブを使用したアロマキャンドルなどを販売した。

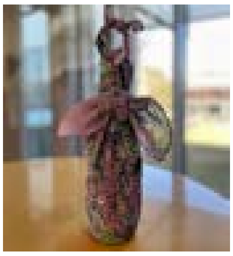
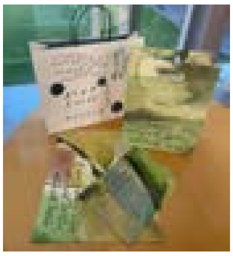
「香取秀真展」ではオリジナル商品としてハンカチ、お菓子2種を制作した。ハンカチは香取秀真の作品《鳩香炉》のイラストをあしらったデザイン。胡桃と和三盆の焼菓子「珠ゆら」と秋色（柿＆オレンジ・林檎・抹茶）の「琥珀糖」は市内の店「藤むら」による製作。掛け紙はそれぞれ《鳩香炉》のイラストと、ショッピング袋のデザインと同じものにした。関連書籍として、茶道にまつわるものや正岡子規の書籍などを販売。気軽に日常へ取り入れることができる茶道具として、楊枝、懐紙、伝統工芸品である奈良高山の茶筅、古布やアジアの布を使って製作している「夫々」（京都）の懐紙入れ、nusse小林有紀（長野）の錫製の菓子切や茶杓、大桃沙織（新潟）の茶匙、藪本寛之（奈良）、開高窯（長野）の中村満、福田栄一の茶碗や皿なども販売した。

「ロートレック展」では巡回展グッズを販売。特にポスターや額絵が人気を集めた。

今後も引き続き、国内外のお客さまが展覧会と合わせてミュージアムショップを楽しんでもらえるよう、商品のラインナップの充実やオリジナル商品の開発に努めたい。

2024（令和6）年度　利用客数

	利用客数（人）
2024年4月	5,067
5月	7,834
6月	3,861
7月	5,027
8月	8,030
9月	5,761
10月	5,745
11月	4,671
12月	2,303
2025年1月	2,613
2月	3,686
3月	5,180

その他

■高齢者・身体障がい者等の利用に対する配慮

車椅子を５台配置

拡大鏡（ルーペ）を１個配置（図書室）

ベビーカーを２台配置

赤ちゃん休憩室の設置

杖を５本配置

■無料観覧日

実施日数１日

2024年5月1日（月）市制施行記念日（コレクション展示無料）

来場者数1,792人中　コレクション展示1,229人

■市民モニター制度

　市民の声を美術館運営に反映していくことを目的とし、毎年、市広報により公募して委嘱。通年にわたり美術館を利用いただき、展覧会の内容や施設の管理運営、スタッフの接遇等について率直な意見等をアンケートで回答していただくもの。

　アンケート結果は、全職員に回覧し、意見等について共有化を図るとともに、全アンケート結果を集計し、館内で閲覧ができるようにしている。

人数：20人（男性５人、女性15人）

期間：2024年４月１日（火）～ 2025年４月６日（日）

アンケート提出回数：企画展毎（2024年度は４回）、通年１回

■その他

中学生以下、障がい者手帳携帯者とその介助者１名まで観覧料無料

70歳以上の松本市民は、コレクション展示の観覧料無料、企画展覧会の観覧料割引

8　開館状況・観覧者数一覧

開館状況・観覧者数一覧

開館状況

開館日数／311日

休館日数／54日

内訳　月曜日 47日　※月曜日が休日の場合は翌平日

年末年始 6日［2024年12月29日（日）～ 2025年1月3日（金）］

計画休館 1日［2024年12月17日（火）］

観覧者数一覧

（展覧会別観覧者数は6ページ「展覧会一覧」に掲載）

月別観覧者数

年	月	日数	有料（人）	無料（人）	入場者総数（人）	1日平均（人）
2024	4	26	16,945	2,767	19,712	758
	5	27	24,039	6,329	30,368	1,125
	6	26	13,699	2,079	15,778	607
	7	26	15,493	3,222	18,715	720
	8	31	27,345	5,789	33,134	1,069
	9	25	18,837	2,930	21,767	871
	10	27	19,595	2,489	22,084	818
	11	26	16,122	2,763	18,885	726
	12	23	7,953	1,268	9,221	401
2025	1	24	8,816	1,630	10,446	435
	2	24	12,199	2,383	14,582	608
	3	26	17,504	3,090	20,594	792
合　計		311	198,547	36,739	235,286	757

学校関係減免観覧者数

区　分	件数（件）	人数（人）
幼稚園・保育園	3	69
小学校	9	523
中学校	19	1,310
高　校	17	423
大学・専門	12	450
養護学校	8	103
その他	4	138
合　計	72	3,016

9　松本市美術館の概要

9-1　沿革
9-2　施設
9-3　関係委員・職員名簿
9-4　関係例規
9-5　利用案内

沿　革

（大正末期）		松本美術会の援助の下に当地方出身画家の60余点の作品を蒐集した展覧会を開催し、松本市美術館の建設を企てる
1993年（平成 5年）	3月	美術館基本構想策定に向けて美術館基本構想策定委員会を設置、1994（平成6）年11月「松本市にふさわしい美術館像について」提言を受理
1996年（平成 8年）	6月	美術館建設の候補地として中央4丁目旧警察跡地外に決定
	11月	美術館懇話会を設置、1997（平成9）年1月「懇話会報告書」を受理
1997年（平成 9年）	3月	「（仮称）松本市美術館基本構想」を策定
	7月	「（仮称）松本市美術館資料収集選定委員会」を設置 美術資料の収集に努める
	9月	美術館建設検討委員会を設置 美術館の機能等について指導を受ける
1998年（平成10年）	3月	「（仮称）松本市美術館基本計画」策定
	6月	プロポーザル方式により、宮本忠長建築設計事務所に設計を委託
	8月	美術館外構整備研究会を設置 外構整備の在り方について調査研究
1999年（平成11年）	7月	1998（平成10）年12月基本設計を市議会に報告、引き続き実施設計に着手、完了
	10月	新築工事起工式
2000年（平成12年）	10月	「松本市美術館開設市民研究会」を設置 美術館管理運営について調査研究
2001年（平成13年）	7月	米倉守松本市美術館館長就任
	9月	「松本市美術館条例」制定
	10月	建物工事完成
2002年（平成14年）	3月	建設工事竣工
	4月	開館
	8月	博物館登録
2003年（平成15年）	5月	社団法人照明学会照明普及賞（優秀施設賞）受賞
	11月	社団法人建築業協会第44回建築業協会賞受賞
2004年（平成16年）	6月	松本市美術館の建築で設計者宮本忠長が日本芸術院賞を受賞
2009年（平成21年）	4月	竹内順一松本市美術館館長就任
2010年（平成22年）	6月	社団法人公共建築協会第12回公共建築賞優秀賞受賞
	10月	重要文化財公開承認施設として承認される（～2015（平成27）年10月）
2013年（平成25年）	3月	竹内順一松本市美術館館長退任
	4月	小川稔松本市美術館館長就任
2021年（令和 3年）	4月	休館、機能回復を目的とした大規模改修工事を実施
2022年（令和 4年）	4月	リニューアルオープン

施　設

［建築概要］

建設場所	松本市中央４丁目２番22号
設計	株式会社宮本忠長建築設計事務所
施工	
建築工事	間・松本岡谷・ノグチ特定建設工事共同企業体
電気設備工事	関電工・西電設特定建設工事共同企業体
機械設備	須賀・大和特定建設工事共同企業体
植栽工事	有限会社東花園
	株式会社信州グリーン
	株式会社奥原造園
	株式会社緑化センター
	株式会社シンヨー
	有限会社竜松園
映像設備	株式会社丹青社
収蔵ラック類	株式会社シマコー
敷地面積	10,185.92 ㎡
建築面積	3,495.62 ㎡
延床面積	7,741.87 ㎡
主構造	鉄筋コンクリート造３階（一部４階）
建築費	
本体・外構工事費	5,810,000千円
設計、監理費	237,800千円
植栽工事費	132,000千円
附帯工事費	32,000千円

［部門別構成と面積概要］

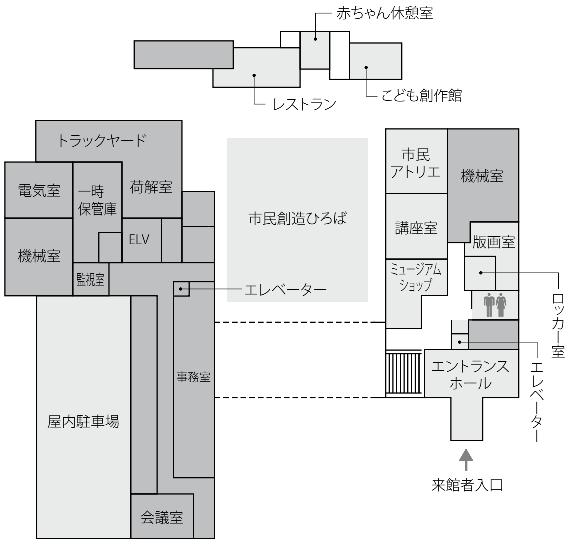
展示部門	**2,583.18 ㎡**
コレクション展示室	978.89 ㎡
企画展示室	1,007.52 ㎡
上條信山記念展示室	247.65 ㎡
田村一男記念展示室	247.65 ㎡
池上百竹亭コレクション展示室	39.46 ㎡
オープンギャラリー	62.01 ㎡
教育普及部門	**920.04 ㎡**
アートライブラリー	60.70 ㎡
多目的ホール	220.00 ㎡
市民ギャラリーＡ	169.67 ㎡
市民ギャラリーＢ	169.67 ㎡
市民アトリエ	99.89 ㎡
講座室	96.75 ㎡
版画室	53.78 ㎡
こども創作館	49.58 ㎡
収蔵部門	**705.43 ㎡**
収蔵庫	586.46 ㎡
一時保管庫	118.97 ㎡
管理部門	**381.98 ㎡**
学芸研究室	**348.27 ㎡**
共用サービス部門	**2,199.52 ㎡**
エントランスホールその他共用部分	1,997.99 ㎡
レストラン	93.45 ㎡
ミュージアムショップ	83.12 ㎡
赤ちゃん休憩室	24.46 ㎡
市民創造ひろば	**393.00 ㎡**

駐車台数　**普通車67台**
　　　　　バス　４台

松本市美術館平面図

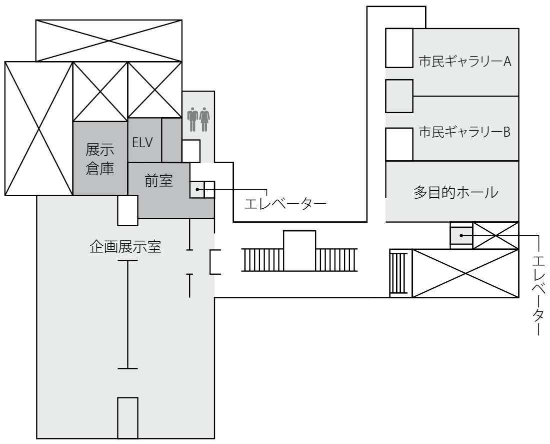
［1F］

1階フロアは学習活動を支援する市民アトリエ、講座室、版画室等教育普及機能を備えている。また、別棟にはこども創作館、赤ちゃん休憩室を設けている。

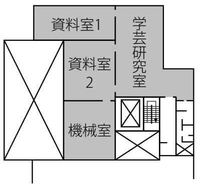


［2F］

2階フロアは企画展示室、多目的ホール、市民ギャラリーから構成され、動きのあるフロアとなっている。企画展示室は国内外の貴重な美術品を展示する機能と規模を有している。

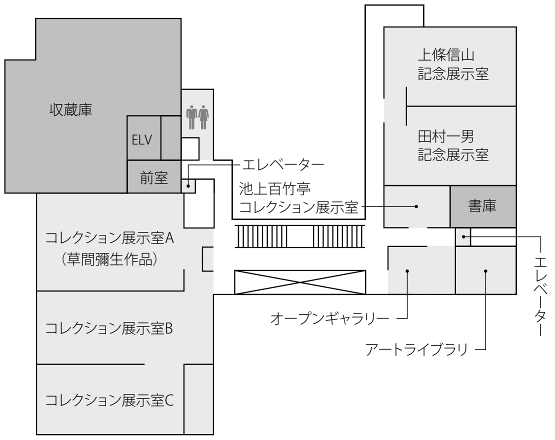


［中3F］



［3F］

3階フロアは草間彌生作品の他、松本市美術館所蔵の美術資料を中心に展示している。特に、名誉市民であり文化功労者の上條信山、田村一男両氏の記念展示室、また池上百竹亭コレクションの展示室を設けている。また、図書室区画は2021年の改修でコンパクトで利用しやすいレイアウトに変更し、オープンギャラリーのスペースを新設した。



関係委員・職員名簿

2024（令和6）年度　松本市美術館美術資料等選定委員会委員

職　名	氏　名	役　職　等
委員長	島　　敦　彦	国立国際美術館館長
委　員	浅　井　京　子	元早稲田大学會津八一記念博物館特任教授
委　員	原　田　　光	美術評論家
委　員	滝　澤　正　幸	元上田市立美術館館長
委　員	松　本　　透	アーティゾン美術館副館長
委　員	木　本　文　平	碧南市藤井達吉現代美術館館長
委　員	草　薙　奈津子	元平塚市美術館特別館長

（2025年3月31日現在）

2024（令和6）年度　松本市美術館職員

職　名	氏　名
館　　長	小　川　　稔
副　館　長	武　藤　美　紀
企画運営担当係長	原　　智　之
企画運営担当	鳥　羽　大　地
庶務担当（財団職員）	高　木　由　美
貸館担当（財団職員）	阿　部　結　花
貸館担当（財団職員）	中　川　あゆみ
課長補佐（美術担当係長　学芸員）	大　島　　武
美術担当係長（学芸員）	澁田見　　彰
美術担当（学芸員）	稲　村　純　子
美術担当（学芸員）	中　澤　　聡
美術担当（学芸員）	原　澤　知　也
美術担当（学芸員）	北　原　麻　椰
美術担当（学芸員）	藤　原　裕　希
ショップ担当（店長）（財団職員）	鬼　頭　千　佳
ショップ担当（財団職員）	中　山　美由紀
ショップ担当（財団職員） （2024年7月から）	川　舩　　梓
ショップ担当（財団職員） （2024年8月から）	百　瀬　さおり
ショップ担当（財団職員） （2024年4月まで）	滝　澤　春　江

（2025年3月31日現在）

※財団：（一財）松本市芸術文化振興財団

関係例規

松本市美術館条例

平成13年9月28日
条例第64号

（目的）
第1条　この条例は、市民の美術に関する教養を高め、芸術及び文化の発展に寄与するため、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2の規定に基づき、松本市美術館（以下「美術館」という。）の設置及び管理等について必要な事項を定めることを目的とする。
（名称及び位置）
第2条　美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名　称	位　置
松本市美術館	松本市中央4丁目2番22号

（休館日及び開館時間）
第3条　美術館の休館日及び開館時間は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。
（1）休館日
ア　月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該日以後の休日に当たらない最初の日）
イ　12月29日から翌年の1月3日まで
（2）開館時間
ア　美術館の施設のうち別表第3に掲げる施設　午前9時から午後9時まで
イ　ア以外の美術館の施設　午前9時から午後5時まで
（入館の制限）
第4条　市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。
（1）美術館の施設及び設備（以下「施設等」という。）又は美術品及び美術に係る資料（以下「美術品等」という。）を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
（2）公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
（3）他人に迷惑を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。
（4）第12条の規定に違反したとき。
（5）前各号に掲げるもののほか、市長が特に不適当と認めるとき。
（観覧料等）
第5条　美術館の展示を観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、観覧料をその都度納入しなければならない。
2　観覧料は、別表第1に定める額とする。
3　前項の規定にかかわらず、観覧料と併せて市長が別に定める施設の観覧料を納入する場合その他市長が特に必要と認める場合における観覧料は、別表第1に掲げる額の範囲内で市長が別に定める額とする。
（特別観覧料等）
第6条　学術研究その他の教育的目的のため、美術品等の熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、あらかじめ市長に申請し、許可を受けなければならない。許可を受けた事項の変更又は取消しをしようとするときも、同様とする。
2　前項の許可を受けた者（以下「特別観覧者」という。）は、当該許可を受けたときに特別観覧料を納入しなければならない。ただし、市長が特に認めたときは、この限りでない。
3　特別観覧料は、別表第2に定める額とする。
（施設等の使用料等）
第7条　別表第3に掲げる施設等を使用しようとする者は、あらかじめ市長に申請し、許可を受けなければならない。許可を受けた事項の変更又は取消しをしようとするときも、同様とする。
2　前項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、当該許可を受けたときに施設等の使用料（以下「使用料」という。）を納入しなければならない。ただし、市長が特に認めたときは、この限りでない。
3　使用料は、別表第3に定める額とする。
（特別観覧及び施設等の使用の制限）
第8条　市長は、第4条各号のいずれかに該当すると認めるときは、特別観覧の許可又は施設等の使用の許可をしないことができる。
2　市長は、特別観覧の許可又は施設等の使用の許可をするときは、美術館の管理上必要な条件を付すことができる。
（特別観覧及び施設等の使用の停止）
第9条　市長は、特別観覧者又は使用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、特別観覧又は施設等の使用を停止し、又は許可を取り消すことができる。この場合において、特別観覧者又は使用者に生じた損害については、市長はその責を負わない。
（1）この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
（2）許可の条件に違反したとき。
（3）特別観覧及び施設等の使用の目的以外に特別観覧し、又は使用したとき。
（4）特別観覧及び施設等を使用する権利を譲渡し、又は転貸したとき。
（5）前各号に掲げるもののほか、市長が特に不適当と認めたとき。
（観覧料等の減免）
第10条　市長は、特別の理由があると認めたときは、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減免することができる。
（観覧料等の還付）
第11条　既に納めた観覧料等は還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、その一部又は全部を還付することができる。
（行為の禁止）
第12条　観覧者、特別観覧者及び使用者（以下「観覧者等」という。）は、市長の許可を得ないで次に掲げる行為をしてはならない。
（1）施設等の原状を変更すること。
（2）飲酒及び喫煙すること又は指定された場所以外で火気を使用すること。
（3）物品を販売すること。
（4）広告又はこれに類するはり紙等を表示すること。
（5）前各号に掲げるもののほか、市長が特に不適当と認めたこと。
（原状回復の義務）
第13条　使用者は、施設等の使用を終了したとき又は使用を停止し、若しくは使用の許可を取り消されたときは、直ちに施設等を原状に回復

しなければならない。
2　使用者が前項の義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、その費用を使用者から徴収する。
（損害賠償）
第14条　観覧者等は、施設等又は美術品等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。
2　前条第2項の規定は、観覧者等が前項の義務を履行しない場合に準用する。
（指定管理者による管理）
第15条　美術館の管理は、法第244条の2第3項の規定により、指定管理者（同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）にこれを行わせることができる。
2　指定管理者は、松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年条例第46号）第3条第1項各号のいずれにも該当し、かつ、美術館の運営を行う能力及び実績を有するものとする。
3　第3条の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、美術館の休館日又は開館時間を変更することができる。
4　指定管理者は、前項の規定により美術館の休館日又は開館時間を変更したときは、変更後の休館日又は開館時間を美術館において公衆の見やすいように掲示しなければならない。
5　第1項の規定により美術館の管理を指定管理者に行わせる場合における第4条、第6条から第9条まで及び第12条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。
（指定管理者が行う業務）
第16条　指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
（1）美術館の観覧及び使用の許可に関する業務
（2）美術館の施設等の維持管理に関する業務
（3）前2号に掲げるもののほか、美術館の運営に関する事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務
（廃止）
第17条　美術館を廃止しようとするときは、議会において出席議員の3分の2以上の者の同意を得なければならない。
（委任）
第18条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。
附　則
（施行期日）
1　この条例は、平成14年4月21日から施行する。
（準備行為）
2　施設等を使用する使用者への許可に関する手続その他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。
附　則（平成15年12月18日条例第108号）
（施行期日）
1　この条例は、平成16年4月1日から施行する。
（経過措置）
2　この条例の施行の際現にこの条例による改正前の松本市美術館条例の規定により受けたこの条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の特別観覧及び施設等の使用の許可は、この条例による改正後の松本市美術館条例（以下「新条例」という。）の規定により受けた特別観覧及び施設等の使用の許可とみなす。
3　新条例第7条、第8条、別表第2及び別表第3の規定は、施行日以後の特別観覧及び使用に係るものから適用し、施行日前の特別観覧及び使用に係るものについては、なお従前の例による。
附　則（平成18年3月16日条例第35号）
（施行期日）
1　この条例は、平成18年4月1日から施行する。
（経過措置）
2　この条例による改正後の別表第3の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係るものから適用し、施行日前の使用に係るものについては、なお従前の例による。
附　則（平成20年9月29日条例第57号）
この条例は、平成21年4月1日から施行する。
附　則（平成22年3月19日条例第83号）
この条例は、平成22年4月1日から施行する。
附　則（平成26年3月14日条例第111号）
（施行期日）
1　この条例は、平成26年4月1日から施行する。
（経過措置）
2　この条例による改正後の別表第3の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものから適用し、施行日以後の使用に係る使用料で施行日前に納入するもの及び施行日前の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものについては、なお従前の例による。
附　則（平成31年3月18日条例第110号）
（施行期日）
1　この条例は、平成31年10月1日から施行する。
（経過措置）
2　この条例による改正後の別表第2及び別表第3の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の許可に係る特別観覧料又は使用に係る使用料（以下「特別観覧料等」という。）で施行日以後に納入するものから適用し、施行日以後の特別観覧料等で施行日前に納入するもの及び施行日前の特別観覧料等で施行日以後に納入するものについては、なお従前の例による。
附　則（令和3年3月22日条例第14号）抄
（施行期日）
1　この条例は、令和3年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。
（松本市美術館条例の一部改正に伴う経過措置）
3　この条例の施行の際、現に前項の規定による改正前の松本市美術館条例の規定により松本市教育委員会によりなされた処分、手続その他の行為で現にその効力を有するもの又は施行日前に松本市教育委員会に対してなされている申請その他の行為は、前項の規定による改正後の松本市美術館条例の規定により市長によりなされた処分、手続その他の行為又は市長に対してなされている申請その他の行為とみなす。
附　則（令和4年2月9日条例第11号）
この条例は、令和4年4月1日から施行する。
附　則（令和5年3月22日条例第1号）
この条例は、令和5年4月1日から施行する。
附　則（令和6年9月24日条例第63号）
（施行期日）
1　この条例は、令和7年4月1日から施行する。ただし、第12条第2号の改正規定及び別表第3の改正規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2　この条例による改正後の別表第1の規定は、令和7年4月1日以後に納入する観覧料から適用し、同日前に納入するものについては、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

区分			大人	大学生・高校生
常設展示	個人	市長が指定するウェブサイトを利用して納入する場合	700円	350円
		美術館内観覧券売場で納入する場合	800円	400円
	団体（20人以上）		630円	310円
特別展示			市長がその都度定める額	

備考

1　一般とは、大学生等以外の者であって、出生の日から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にないものをいう。

2　大学生等とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学、高等専門学校（第4学年以上に限る。）及び専修学校（専門課程に限る。）の学生及び生徒である者をいう。

別表第2（第6条関係）

区分	単位	金額
熟覧	1点1日あたり	520円
模写・模造		2,200円
撮影（学術研究用）	1点	520円
撮影（その他）		3,240円
原板使用（学術研究用）	1枚	520円
原板使用（その他）		2,200円

別表第3（第3条、第7条関係）

（1）施設

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
	9：00～12：30	13：00～17：00	17：30～21：00	9：00～17：00	13：00～21：00	9：00～21：00
企画展示室	—	—	—	—	—	49,230円
市民ギャラリーA	—	—	—	—	—	8,800円
市民ギャラリーB	—	—	—	—	—	8,800円
市民創造ひろば						
美術館関連イベントに使用	—	—	—	—	—	4,190円
上記以外（1㎡当たり）	—	—	—	—	—	70円
多目的ホール						
ギャラリーとして使用	—	—	—	—	—	7,850円
上記以外	4,400円	5,440円	6,600円	9,320円	11,410円	14,770円
講座室	940円	1,040円	1,150円	1,880円	1,990円	2,820円
市民アトリエ	940円	1,040円	1,150円	1,880円	1,990円	2,820円
版画室	940円	1,040円	1,150円	1,880円	1,990円	2,820円
会議室	940円	1,040円	1,150円	1,880円	1,990円	2,820円
こども創作館						
ギャラリーとして使用	—	—	—	—	—	2,090円
上記以外	410円	520円	620円	830円	1,040円	1,360円

備考

1　800円を超える入場料又はこれに類するものを徴収して施設を使用するときの金額は、当該区分に定める額の100分の200に相当する額とする。

2　こども創作館をギャラリーとして使用する場合の使用料には、展示用の器具代を含む。

3　算出した額に10円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

（2）冷暖房

区分	単位	金額
企画展示室	1回	8,800円
市民ギャラリーA		1,570円
市民ギャラリーB		1,570円
多目的ホール		2,200円
講座室		730円
市民アトリエ		730円
版画室		730円
こども創作館		310円

備考　1回とは、午前・午後・夜間をそれぞれ単位とする。

（3）器具

市長が別に定める額

松本市美術館条例施行規則

令和3年3月31日
規則第80号

（目的）

第１条　この規則は、松本市美術館条例（平成13年条例第64号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めることを目的とする。

（特別観覧の申請等）

第２条　条例第６条の申請は、松本市美術館特別観覧許可申請書（様式第1号）、松本市美術館特別観覧許可変更・取消申請書（様式第２号）により行うものとする。

2　条例第６条の許可は、松本市美術館特別観覧許可書兼領収書（様式第3号。以下「特別観覧許可書」という。）、松本市美術館特別観覧許可変更・取消許可書兼領収書（様式第４号）の交付により行うものとする。

3　特別観覧の許可を受けた事項の変更又は取消しの申請をするときは、特別観覧許可書を添付するものとする。

4　特別観覧を許可された者が特別観覧をするときは、第2項の許可書を職員に提示し、市長が指定する場所において行わなければならない。

（使用の申請等）

第３条　松本市美術館（以下「美術館」という。）の施設又は設備（以下「施設等」という。）の使用の申込期間は、別表第1に定めるところによる。ただし、市長が特に認めたときは、この限りでない。

2　条例第７条の申請は、松本市美術館使用許可申請書（様式第5号）、松本市美術館使用許可変更・取消申請書（様式第6号）により行うものとする。

3　条例第７条の許可は、松本市美術館使用許可書兼領収書（様式第７号。以下「使用許可書」という。）、松本市美術館使用許可変更・取消許可書兼領収書（様式第8号）の交付により行うものとする。

4　使用の許可を受けた事項の変更又は取消しの申請をするときは、使用許可書を添付するものとする。

5　使用を許可された者が施設等を使用するときは、第3項の許可書を職員に提示しなければならない。

（使用期間）

第４条　企画展示室、市民ギャラリー A、市民ギャラリー B、市民創造ひろば、多目的ホール（ギャラリーとして使用する場合に限る。）及びこども創作館（ギャラリーとして使用する場合に限る。）を使用する場合の使用期間は、原則として1週間を単位とし、同一人の引き続き2週間を超える使用については、許可しない。ただし、市長が特に認めたときは、この限りでない。

（使用料）

第４条の２　条例別表第３第３号に規定する市長が別に定める額は、別表第2のとおりとする。

（減免）

第５条　条例第10条に規定する観覧料等の減免（以下「観覧料等の減免」という。）の対象事由及び減免額は、別表第3に定めるところによる。

2　観覧料等の減免を受けようとする者（以下「減免の申請者」という。）は、松本市美術館観覧料減免申請書（様式第9号）、松本市美術館特別観覧料減免申請書（様式第1号）、松本市美術館使用料減免申請書（様式第5号）を市長に提出しなければならない。

3　前項の申請に対して観覧料等の減免を決定したときは、減免の申請者に対し、松本市美術館観覧料減免決定書（様式第10号）、松本市美術館特別観覧料減免決定書（様式第3号）、松本市美術館使用料減免決定書（様式第7号）を交付する。

4　前2項の規定にかかわらず別表第3観覧料の項第1号、第2号及び第4号に定める対象事由に該当する者は、当該対象事由を申告し、承認を受けるものとする。

（還付）

第６条　条例第11条ただし書に規定する観覧料等の還付（以下「観覧料等の還付」という。）の対象事由及び還付額は、別表第4に定めるところによる。

2　観覧料等の還付を受けようとする者(以下「還付の申請者」という。)は、松本市美術館観覧料還付申請書（様式第11号）、松本市美術館特別観覧料還付申請書（様式第2号）、松本市美術館使用料還付申請書（様式第6号）を市長に提出しなければならない。

3　前項の申請に対して観覧料等の還付を決定したときは、還付の申請者に対し、松本市美術館観覧料還付決定書（様式第12号）、松本市美術館特別観覧料還付決定書（様式第4号）、松本市美術館使用料還付決定書（様式第8号）を交付する。

（立入り等）

第７条　市長は、美術館の管理上必要があると認めたときは、使用中の美術館の施設内に立入り、使用者に対し必要な指示を行うことができる。

（読替規定）

第８条　条例第15条第1項の規定により美術館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせる場合における第2条から第4条まで及び前条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

（補則）

第９条　この規則に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

（施行期日）

1　この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（経過措置）

2　この規則の施行の日前に、廃止前の松本市美術館条例施行規則（平成13年松本市教育委員会規則第12号）の規定によりなされた処分、手続きその他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附　則（令和4年3月22日規則第6号）

（施行期日）

1　この規則は、令和4年4月1日から施行する。

（経過措置）

2　この規則による改正前の松本市美術館条例施行規則の規定による様式は、当分の間、この規則による改正後の松本市美術館条例施行規則の規定による様式とみなす。

附　則（令和6年10月21日規則第88号）

（施行期日）

1　この規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2　この規則による改正前の松本市美術館条例施行規則の規定による様式は、当分の間、この規則による改正後の松本市美術館条例施行規則の規定による様式とみなす。

別表第１（第３条関係）

区　分		申込期間
企画展示室 市民ギャラリーA 市民ギャラリーB 市民創造ひろば 多目的ホール （ギャラリーとして使用する場合） こども創作館 （ギャラリーとして使用する場合）	市内に在住・在勤する者及び主に市内で活動している団体	使用日の６カ月前から前日まで
	上記以外の者及び団体	使用日の４カ月前から前日まで
上記以外の施設	市内に在住・在勤する者及び主に市内で活動している団体	使用日の３カ月前から前日まで
	上記以外の者及び団体	使用日の２カ月前から前日まで

別表第２（第４条の２関係）

区　分		単　位	金　額
多目的ホール	音響・視聴覚機器	１式１回	2,200円
講座室			1,570円
版画室	版画制作・写真現像機器		1,040円
企画展示室	スポットライト	１個１日	100円
市民ギャラリーA			
市民ギャラリーB			
多目的パネル			
展示パネル		１枚１日	100円
持込み電気機器		1 kw1回	520円

備考

1　１回とは、条例別表第３第１号に定める午前・午後・夜間をそれぞれ単位とする。

2　この表に掲げる器具（スポットライト及び展示パネルを除く。）を条例別表第３第１号に定める午前～午後、午後～夜間又は全日について使用する場合は、次のとおりとする。

区　分	金　額
午前～午後又は午後～夜間	１回当たりの使用料をそれぞれ加算した額の100分の95に相当する額
全　日	１回当たりの使用料をそれぞれ加算した額の100分の90に相当する額

3　前項の規定において算出した額に10円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第３（第５条関係）

区　分	対象事由	減免額
観覧料	⑴市内に住所を有する70歳以上の者	全　額
	⑵障害者（障害者基本法（昭和45年法律第84号）第２条に規定する障害者をいう。）及び介助者（１名）	全　額
	⑶学校教育の一環として、担当教諭が引率して観覧する大学生・高校生及び大学生以下の者を引率する教諭	全　額
	⑷その他市長が特に必要と認めた者	市長の必要と認めた額
特別観覧料	市長が特に必要と認めたとき	市長の必要と認めた額
使用料	⑴市の主催事業に使用するとき	全　額
	⑵国、県及び他の地方公共団体が市と共同して使用するとき	全　額
	⑶市の共催事業に使用するとき	100分の70を乗じた額（冷暖房使用料を除く。）
	⑷社会教育関係団体が使用するとき	100分の70を乗じた額（冷暖房使用料を除く。）
	⑸その他市長が特に必要と認めた者	100分の50を乗じた額（冷暖房使用料を除く。）

備考

1　この表において「大学・高校生」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）第１条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、同法第124条に規定する専修学校、その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。

2　算出した額に10円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第４（第６条関係）

区　分	対象事由	還付額
観覧料	市長が特に必要と認めたとき	市長の必要と認めた額
特別観覧料	市長が特に必要と認めたとき	市長の必要と認めた額
使用料	⑴使用者の責でない理由により、使用することができなかったとき	全　額
	⑵使用する日以前20日前までに第３条第２項の規定により使用の変更又は取消しをしたとき	全　額
	⑶使用する日以前10日前までに第３条第２項の規定により使用の変更又は取消しをしたとき	100分の50を乗じた額
	⑷その他市長が特に必要と認めたとき	市長の必要と認めた額

備考　算出した額に10円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

様式第１号

様式第２号

様式第３号

様式第４号

様式第５号

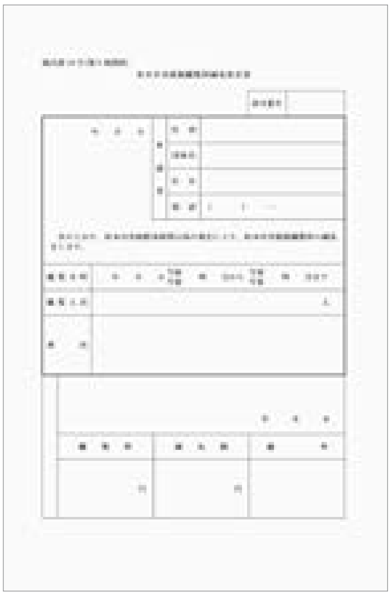
様式第６号

様式第７号

様式第８号

様式第９号

様式第10号



様式第11号

様式第12号

松本市美術館美術資料等収集要綱

令和３年３月26日

告示第129号

（目的）

第１条　この要綱は、松本市美術館において収集する美術作品及び美術に関する資料（以下「美術資料等」という。）を適性かつ円滑に収集するために必要な事項を定めることを目的とする。

（収集）

第２条　美術資料等の収集は、購入、寄贈、寄託によるものとする。

2　収集する美術資料等は、原則として次の各号のいずれかに該当する美術資料等とする。

（1）郷土出身の作家、松本にゆかりのある作家及び関連する美術資料等

（2）松本を中心とした信州の自然、風土、歴史にかかわる美術資料等

（3）山岳等をテーマとした国内外の美術資料等

（4）音楽にちなんだ美術資料等

（5）その他、市長が必要と認めた美術資料等

（松本市美術館美術資料等選定委員会）

第３条　市長は、松本市美術館美術資料等選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置し、美術資料等の収集に当たり、適性な選定及び評価を必要とする美術資料等について、意見を求めるものとする。

2　選定委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は７人以内とする。

3　委員は、美術に関し学識経験のある者のうちから市長が選任した者をもって充てる。

4　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委任）

第４条　市長は、選定委員会の求めに応じ専門的な調査を必要とする美術資料等について、当該美術資料等に関し学識経験を有する者（以下「評価員」という。）に調査を委任するものとする。

（評価員）

第５条　評価員は、市長が選任する。

2　評価員は、委任する調査事項が終了したとき解任する。

（補則）

第６条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

（施行期日）

1　この告示は、令和３年４月１日から施行する。

（経過措置）

2　この告示の施行の際、現に廃止前の松本市美術館美術資料等収集要綱（平成９年教育委員会告示第15号）第３条の規定により委員に選任されている者は、この告示の相当規定により委員に選任されたものとみなす。

松本市美術館美術資料等選定委員会運営要領

（目的）

第１条　この要領は、松本市美術館美術資料等選定委員会（以下「選定委員会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（委員長）

第２条　選定委員会に委員長１名を置き、委員の互選によって定める。

2　委員長は、選定委員会を代表し、会務を総理する。

3　委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

（会議）

第３条　選定委員会は、委員長が招集する。

2　選定委員会の会議は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。ただし、委員長が必要と認めたときは、この限りではない。

3　選定委員会の議事は、出席委員の過半数以上で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（業務）

第４条　選定委員会は、市長の求めに応じて、次に掲げる事項を審議する。

（1）本市において収集する美術作品及びその他美術に関する資料（以下「美術資料等」という。）の選定及び評価に関すること。

（2）前号に掲げるもののほか、美術資料等の収集に関すること。

（委任）

第５条　選定委員会は、審議において専門的な調査を必要とする美術資料等について、市長に調査を求めることができる。

（庶務）

第６条　選定委員会の事務は、文化観光部美術館において処理する。

（補則）

第７条　この要領に定めるもののほか選定委員会の運営に必要な事項は、市長が別に定める。

利用案内

［開館時間］

観覧時間

午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

施設利用時間

教育普及施設の利用は午前9時～午後9時

［休館日］

月曜日（休日の場合は翌平日）

年末年始

［観覧料］

コレクション展示　大人410円　大学生・高校生200円

・20名以上の団体は100円引き

・中学生以下・70歳以上の松本市民無料

・障がい者手帳携帯者とその介助者1名無料

企画展示　展覧会によって異なる。

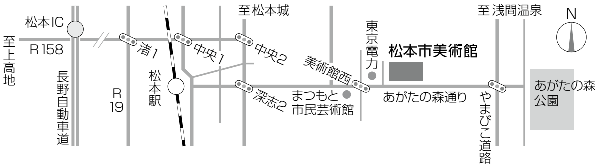
［交　通］

・JR松本駅からぐるっとまつもとバス・横田信大循環線5分
「松本市美術館」下車

・JR松本駅からタウンスニーカー（市内周遊バス）東コース7分
「伊織霊水（美術館北）」下車　徒歩5分

・JR松本駅から徒歩12分

・長野自動車道松本インターチェンジから車で15分



［ミュージアムショップ］

TEL　0263-39-7408（直通）

営業時間　午前9時～午後5時

定休日　美術館休館日に同じ

［カフェ・レストラン ］

SYOKUDO&CAFÉ yum-yum

TEL　090-7753-8686

営業時間　ランチ：午前11時～午後2時30分

カフェ：午後2時30分～午後5時

ディナー：要予約

日曜日はランチ、カフェのみ

定休日　美術館休館日に同じ

松本市美術館年報
2024（令和6）年度

2026年3月1日発行

デザイン／川越印刷株式会社

編集・発行／松本市美術館
〒390-0811 長野県松本市中央4丁目2-22
TEL.0263-39-7400　FAX.0263-39-3400